

北海道議会時報

第30卷 第1号

特集 昭和52年第4回定例道議会



(表紙写真説明)

稚内港の流氷

流氷とは、海水が風、波、海潮流のまにまに海面を漂流するものの総称。海水は、海岸に固着して動かない定着氷と、それ以外の流氷とに2大別される。海水の結氷点はその含有塩分量によって決定されるが、ふつうの海水塩分量34パーミルでは、約マイナス2度Cで結氷する。両極地方は年間を通じて流氷が存在するが、そのほかでは低緯度地方で冬季だけ見られる。

日本近海で流氷の多い海区はオホーツク海で、根室付近の太平洋にも冬季流氷群の南下を見る。そのほかサハリン東岸から宗谷海峡、日本海北部にも多い。流氷が多く生成された年は、これが融解して冷水域を本州の東方沖に形成しやすく、このため夏季、北海道、東北地方の低温の一因となると考えられている。

……第1号もくじ……

第4回定例道議会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	11
決 議・意 見 書	13
請 願・陳 情	14

委員会の動き

議会運営委員会	19
常 任 委 員 会	23
特 別 委 員 会	27
総合開発調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	

資 料

第4回定例道議会において議決を経た 条例の公布調	36
-----------------------------	----

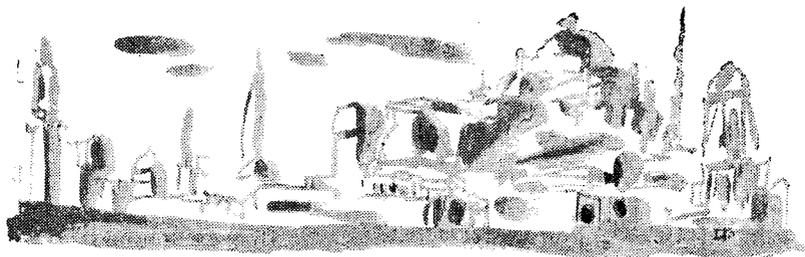
12月のメモ

議 会 日 誌

▶12月

- 2日 議会運営委員会
- 5日 厚生、文教林務各委員会
- 7日 総合開発調査特別委員会
- 8日 議会運営、各常任、北方領土対策特別、
公害対策特別各委員会
- 9日 (第4回定例会開会)
議会運営委員会
本会議 (会期決定<12日間>、提案説明)
- 13日 議会運営、総務各委員会
本会議 (代表質問<2人>)
- 14日 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2人>、一般質問<2人
>)
- 15日 議会運営、総務各委員会
本会議 (一般質問<5人>、追加提案説明)
- 16日 議会運営委員会
本会議 (一般質問<2人>、予算・決算特別
委員会設置)
予算特別、決算特別各委員会 (正副委員長

- 互選、予算第1、第2分科会設置)
- 17日 予算第1、第2各分科会 (正副委員長互選)
- 19日 議会運営、総務各委員会
本会議 (追加提案説明)
予算第1、第2各分科会
- 20日 議会運営委員会
本会議 (会期延長)
予算第1、第2各分科会
- 21日 議会運営委員会
本会議 (会期延長)
予算特別委員会
予算第1、第2各分科会
- 22日 議会運営、各常任、総合開発調査特別各
委員会
本会議 (各委員長報告、議案等可決、収用委
員等選任、決議案2件・意見案1件可
決)
予算特別、決算特別各委員会
(第4回定例会閉会)



第4回定例道議会

道職員の綱紀肅正を決議

▶老人医療無料化拡大決まる◀

概 要

- ① 円高・不況対策、老人医療費の無料化拡大、道職員の一連の不祥事件に係る綱紀肅正などの重要問題を審議する第4回定例道議会は、12月9日招集され、会期を12月20日までの12日間と決定の後、奈良敬蔵議員（後志支庁選出）の辞職に伴う常任委員の所属変更及び特別委員の補欠選任を行い、ついで総額46億9000万円（一般会計70億5,200万円増、特別会計23億6,100万円減）の補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提案説明があって、議案調査のため、翌10日から12日まで3日間休会した。
- ② 休会あけの12月13日は、知事から、一連の道職員の不祥事件に関連して知事の給料10%減額に係る条例案について追加提案説明が行われた後、代表質問に入り、翌14日には一般質問に入った。ついで、15日には、道職員の給与改定に係る総額220億6,000万円の補正予算など関連17案件が追加提案され、翌16日、一般質問を終結して、直ちに31人からなる予算特別委員会及び21人からなる決算特別委員会を設置のうえ、議案を各委員会付託し、各委員会における付託議案審査のため12月17日1日間休会した。
- ③ 代表質問及び一般質問において論議された問題は、道財政の見通しと地方財源対策、53年度予算の編成方針、行政機構の見直し及び改善への取組み、道職員の綱紀肅正対策など行財政問題。発展計画と政府計画の整合性、21世紀ビジョンづくりのあり方、苫東石油備蓄基地への取組み方針、石狩湾新港建設に関連する財政対策など開発問題。円高の道内産業への影響と対応策、景気浮揚の具体策、中小企業振興対策と振興公社の設立、公共事業発注に当たっての下請対策、季節労働者対策など不況・中小企業問題。稲作転換目標面積の地域配分の方法と生産調整の法的根拠、農林省の農業生産地域指標の受けとめ方、加工原料乳の過剰対策、転作畑作物の価格安定策、稲作地域における肉用牛対策など農業問題。老人医療費無料化拡大の運用方針と適用条件の妥当性、関係団体の協力見通しと市町村への財政対策、難病対象疾患の指定拡大、乳幼児・母子家庭医療費の無料化実施時期、白糖肢体不自由児施設の建設見通し、介護手当の増額、衛生大学の設立見通し、遷延性意識障害患者への援護対策など福祉・医療問題。北炭再建への取組み、62年度石炭生産1,300万トン確保の見通し、原発の安全性などエネルギー・石炭問題、公立学校教職員人事異動要綱の実施見通し、第4次教員定数改善計画の実現見通し、総合選抜制導入のあり方など教育問題。浦幌町・米軍ロランC基地の機能強化問題、滝川市等の競輪場誘致に対する見解、ソ連200カイリ水域内における罰金徴収への対策、警察官の増強対策、海外漁業協力のあり方、62年国民体育大会の本道誘致方、地場製品開発基金制度の実施、北方圏諸国との交流、児童相談所のあり方などの諸問題が主に取りあげられた。
- ④ 予算特別委員会は、12月16日設置され、正副委員長互選を行い、2分科会を設置のうえ、17日から補正予算に対する各部所管の審議に入り、21日には、分科会の質疑を終了、各分科委員長報告の後、本委員会において追加公共事業補正予算について質疑、翌22日も、これを続行、引き続いて、知事に対する総括質疑を行い、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致を見るに至らず、社会、公明、共産3党共同による、老人医療費無料化を現行制度で65歳まで引下げ、医療費は全額道負担、所得税非課税世帯の老人すべてを対象とする等を骨子とする修正案が提出され、採決の結果これを否決、知事提案について、2項目の付帯意見を付し、いずれも原案可決とすることに決定した。
- ⑤ 再開日の12月19日は、総額250億円の公共事業費補正予算（債務負担行為を含む）が追加提案され、直ちに予算特別委員会に付託。翌20日は、予算審議の状況から会期を12月21日まで1日間延長すること

に決定。21日には、更に会期を12月22日まで1日間延長。

最終日の12月22日は、再開後、まず、昭和52年度補正予算等に関する予算特別委員長報告の後、社会、公明、共産3党共同による予算修正案について、趣旨説明、討論、採決の結果これを否決、知事提案をいずれも委員長報告のとおり原案可決。次に、各常任委員会付託案件について、起立採決又は簡易採決により、委員長報告のとおり原案可決の後、収用委員及び公害審査委員の人事案件について、提案説明、起立採決又は簡易採決により同意議決。ついで、「老人医療無料化政策の制度についての要望決議」について、趣旨説明、採決の結果これを否決の後、「道職員の綱紀肅正に関する決議」ほか1意見案を可決。引き続き、請願6件について委員会決定のとおり採択することとし、ついで昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件を閉会中継続審査とすることに決定。次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来14日目の12月22日夜閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況					計
		原案可決	否 決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	48	41	—	2	1	4	48
議 員	4	2	2	—	—	—	4
計	52	43	2	2	1	4	52

本 会 議

○12月9日（金） 午前11時3分開議、佐々木豊議長、昭和52年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、**日程第1会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告（知事から提出のあった議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第5号、請願審査の結果報告、人事委員長から一般職に属する職員の給与に関する報告並びに給与改定に関する勧告、説明員の委任通知、監査並びに例月出納検査の結果報告、請願第199号ないし第202号及び陳情第24号ないし第26号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員）の後、議長から、12月5日付けて、奈良敬蔵議員の辞職を許可した旨並びに元道議会議員石田露松氏（11月8日）及び朝日昇氏（11月9日）の逝去について弔意を表した旨を報告。

次に、**日程第2会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を12月9日から20日までの12日間と決定。

次に、**日程第3常任委員の委員会所属変更の件**を議題とし、異議なく田苅子政太郎総務委員を農務委員に所属変更することに決定。

次に、**日程第4特別委員補欠選任の件**を議題とし、異議なく佐々木利昭議員を総合開発調査特別委員に補欠選任することに決定。

次に**日程第5議案第1号ないし第21号及び報告第1号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

次に、議案調査のための休会についてはかり、異議なく12月10日から12日まで休会することに決定して、午前11時21分散会。

○12月13日（火） 午後1時10分開議、諸般の報告（知事から提出のあった議案第22号、本日の会議録署名議員）の後、**日程第1議案第22号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明があり、ついで、**日程第1にあわせ、日程第2議案第1号ないし第21号及び報告第1号**を一括議題とし、代表質問に入り、

工藤 万砂美議員（自民）から、①道職員の綱紀の保持に関し、一連の不祥事件の受けとめ方と不祥事件絶滅への具体策、

②行政の見直しに関し、行財政運営の改善への取り組み方、

③財政問題に関し、今年度の税収確保と道財政の健全性維持の見通し、地方財源確保に係る地方交付税率の引上げ等の抜本的な解決への所信と決意、53年度道財政の見通しと予算編成の基本方針、

④老人医療費問題に関し、今回の公費負担制

度拡大の実施案作成に当たっての基本理念と国保財政へのはね返りの見通し、家族的条件の導入についての基本的考え方と弾力的運用を行う考え、現段階における実施市町村の見通し、医師会等の協力見通し、

⑤経済問題に関し、円高対策について、輸出関連中小企業及び関連下請企業に対する緊急対策の必要性、年末年始の中小企業金融対策について、道の制度融資拡充の考え、大型店の進出対策について、道小売商業活動の調整に関する条例制定の考え、小規模零細企業の育成対策について、道中小企業振興公社設置の検討方、雇用問題について、中高年齢者の雇用対策、今冬季における季節労働者対策

⑥エネルギー問題に関し、北炭再建に対する所信、石油備蓄基地を進めるに当たっての防災環境対策、同基地建設による石油精製企業立地促進と地域経済の振興に対する所信、

⑦農業問題に関し、転作目標面積の受けとめ方と地域的配分の基本的考え方、転作条件の整備に係る道のきめ細い対策の必要性、営農指導強化への取組み、水田利用再編対策に対応した今後の基盤整備事業の進め方、米の消費拡大への取組み方、国の農業生産地域指標の受けとめ方と本道稲作の将来展望、加工原料乳が限度数量をオーバーした場合の対処策、農畜産物の輸入問題に対する認識と対処策、

⑧水産問題に関し、日ソ漁業長期協定交渉に関する要望実現に対する考え方、開発途上国に対する漁業協力の必要性、

⑨教育問題及びスポーツの振興に関し、教職員の人事異動についての改善策と人事異動要綱の実施時期、62年国体の開催誘致の考え、道立体育研修総合センターの建設構想とその具体策、

⑩警察力の増強に関し、警察官の増員と機動力の増強対策、

⑪知事の政治姿勢に関し、公約実現に対する決意等について

質問があり、知事、教育長及び道警本部長から答弁。議事進行の都合により午後3時2分休憩、午後3時25分再開し、ついで

高江 良男議員（社会）から、①老人医療費無料化方針に関し、今回の公費負担拡大の実施案と知事の政治姿勢との関連、道総合医療協議

会の8項目にわたる改善の提言に対する具体的な政策展開、家族条件に関連して、勤労者の生活実態に対する認識、今回の実施案撤回の考え、②経済・財政問題に関し、円高対策について、輸出関連中小企業に対する特別融資を増額修正する考え、道財政について、国の第2次補正予算に係る道予算の計上の考え方、債務負担行為に基づく支出増大に対する見解、滝川市への競輪場誘致の動きに対する見解及び地方財源確保との関連、

③雇用問題に関し、構造不況業種等からの離職者対策、漁船乗組員及び水産加工従業員の雇用対策、季節労働者対策について、雇用保険90日給付の復活、冬期間の仕事確保及び仕事がない場合の生活保障等についての国に対する要請方、市町村の就労事業及び生活資金貸付事業への道の助成並びに国の既設制度への道費上置き措置に対する考え方、

④開発、石油、石炭問題に関し、発展計画と三全総及び新北海道総合開発計画との関係、道行政の基本的指針である発展計画の推進に当たっての道議会への対応、石油備蓄基地の立地と苫東開発の基本計画との関連、石油精製企業立地の可能性、石油備蓄に係る防災及び環境対策、第6次石炭新政策に対する評価、発展計画における62年度1,300万トン生産の見通し、新石炭政策樹立に際しての北炭に対する分析と見通し、北炭再建計画見直し案に対する見解、

⑤食糧、農業問題に関し、食糧供給基地の知事として国の経済政策に対する評価、農水産物の輸入自由化攻勢への対応策、米の生産調整誘導策に対する公約の達成状況、本道を食糧備蓄基地として位置づける考え、生産調整に当たって農民の選択権及び配分についての異議申立て等を認める考え、発展計画と農業生産地域指標との関係及び指標再検討の視点、

⑥水産問題に関し、ロシア漁業長期協定交渉に対する見解と決意、本道沿岸漁業振興の基本方針、沿岸漁業開発の効率化に対する見解、養殖技術の普及指導強化の必要性、水産加工技術の向上への取り組み、

⑦綱紀粛正に関し、国家試験問題漏洩事件に対する認識、汚職事件再発防止のための従来の指導のあり方に対する反省と行政システムの抜本

的再検討を含む対策の必要性、

⑧教育問題に関し、第4次教職員定数改善計画の実現見通し、養護教諭及び事務職員の定数の改善充実方、障害児教育の条件整備について、高等部における重複障害学級編制の必要性、幼稚部の教員の免許取得の進め方、道人事委員会の裁決があった昭和41年の5.13事件について、賃金カット額、人数及び昇給延伸による実損額、履歴抹消の進め方、訓告処分者の賃金カット補償の取扱い、累犯加重処分の取扱い、処分行政に対する反省と民主的教育行政推進への決意等について

質問があり、あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事及び教育長から答弁。高江議員から再質問、知事から答弁があって、午後6時31分延会。

○12月14日(水) 午前10時47分開議、諸般の報告(本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、代表質問を続継、

石川 十四夫議員(道政)から、①開発問題に関し、21世紀ビジョンづくりに係る道民意見の反映と道民会議等の活用方、若い世代の参加方策、庁内21世紀プロジェクトチームの目的と検討結果及び21世紀展望懇話会のビジョンづくりとの関連、ビジョンづくりと発展計画との調和及び関連性、ビジョンまとめ上げの見通し、

②経済問題に関し、政府に対する的確な経済運営の要請方、円高の影響を受ける道内産業への対応策、為替差益の生じるプロパンガス値上げの動きに対する対策、今後の景気動向の見通しと本道の経済成長の見込み、景気浮揚対策とその効果、道の倒産関連資金の充分性と不足した場合の措置、企業倒産に係る国の基幹的融資制度確立の働きかけ方、

③北炭の再建問題に関し、産炭地救済の立場にたった北炭再建の国への働きかけ方と道の対策、

④雇用問題に関し、現行の職業安定行政の機能充実方、積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度の改善への取り組み、

⑤福祉問題に関し、老人問題について、高齢化・高齢化社会問題研究協議会等設置による対応策の検討方、低所得老人世帯における健康保険料徴収に対する考え方、心身障害者対策につい

て、母子保健対策の現況と今後の対処策、脳性まひ早期治療対策事業の今後の取組み、難病対策について、対象疾患の指定拡大に対する見解、⑥医療問題に関し、医薬品の副作用に係る組織的情報収集体制強化の必要性、救急医療情報システム整備のための計画等の早期策定方、⑦道政の執行体制の確立に関し、一連の汚職事件に関連して興起の気迫にあふれた道政執行体制の早期確立への決意等について

質問があり、知事から答弁。石川議員から再質問、知事から答弁。ついて

牧野 唯司議員（公明）から、①行政の推進に当る知事の基本姿勢に関し、一連の不祥事の原因と対策、事務事業の見直しへの取組みと国に対する改善要望の進め方、

②老人医療問題に関し、公費負担拡大に対する基本的考え方、適用条件に係る問題点の運用方針、医療機関整備の将来展望と今回の実施案の今後の位置づけ、

③不況対策に関し、地場産業への具体策、企業の操短、倒産に伴う失業対策、輸出関連地場産業に対する円高対策のあり方、

④農業問題に関し、水田転作目標についての考え方、生産調整の地域経済への影響、転作畑作物の価格安定対策、稲作地域における肉用牛の生産振興策、国の農業生産地域指標に対する考え方、

⑤200海里問題に関し、ソ連200海里内における日本漁船に対する罰金徴収問題に関連して、関係漁業者の不安解消と安全操業確立への所信、

⑥石狩湾新港問題に関し、管理組合に係る規約案策定に当たっての姿勢、経費負担の小樽市及び石狩町への影響、52年度までの支出経費に係る債務負担の考え方、小樽港の権益への配慮等について

質問があり、知事から答弁。牧野議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後1時9分休憩、午後2時32分再開。ついて、質疑並びに一般質問に入り、

小笠原 孝議員（自民）から、中小企業振興対策に関し、年末の中小企業金融への対処、商工会等の指導体制の充実強化、道内金融機関の貸出金利引下げの要請方、道の制度融資の別枠扱いの考え、信用保証協会の保証取扱いに対す

る指導方、中小企業高度化資金の貸付枠の拡大と申込時期の改善方、建設工事の通年施工対策、下請取引の適正化についての指導方、道税の納税緩和措置に対する考え方等について質問があり、知事から答弁。ついて、

保格 博夫議員（社会）から、①十勝太ロランC基地問題に関し、設備強化の目的と内容及び安保条約との関連、同基地発信電波の民間利用、同基地への電力供給に対する考え方、今回の基地増改築工事と道条例による駐留軍及び自衛隊施設対策委員会の開催との関連、基地内の安全確保対策、基地設立当時の札幌調達局長・浦幌町長間の附帯条件の履行状況、

②教育問題に関し、明年度の推定進学率2%上昇の考え方、地域ごとの状況に適應した対策の必要性、私立高校及び職業高校を含めた選抜方法及び学区のあり方の検討方、公私立間の父母負担格差の早急な解決、各種審議会答申の受けとめ方と具体化への進め方、障害児教育についての総合的かつ体系化された法制度の確立、言語障害に関する教員採用のあり方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。保格議員から再質問があり、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時3分休憩、午後5時51分再開し、本日の会議はこの程度にとどめ、延会することに決定して午後5時52分延会。

○12月15日（木） 午後零時11分開議、諸般の報告（知事から提出のあった議案第23号ないし第39号、議案第32号ないし第35号及び議案第37号ないし第39号について議長から人事委員会に対する意見要求、請願第203号及び陳情第27号ないし第29号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第22号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から、昨日の保格議員の質問に対する答弁の後、引き続き、

保格 博夫議員（社会）から、ロランC基地問題に関し、基地拡張に係る住民の疑問点及び理解に対する積極的な行政指導の推進方について

再々質問があり、知事から答弁。

ついて、日程第1の議事を中止して、日程に追加し、議案第23号ないし第39号を議題とすることをはかり、異議なくそのことに決定の後、直ちに追加日程議案第23号ないし第39号を議題とし、知事から提出議案に関する説

明があって、議事進行の都合により午後零時31分休憩、午後1時43分再開。日程第1に合わせ、追加日程を一括議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

舟山 広治議員（社会）から、①農業問題に関し、一貫性を欠く農政の現状に対する見解、農業生産地域指標における本道稲作面積17万2,000ヘクタールと発展計画における24万ヘクタールとの格差についての考え方、減反割当受け入れの考え方と食管制度の現状に対する認識、転作のための土地改良の進め方、稲作経営に係る指導方針、専業農家と兼業農家の関連、地域農政特別対策事業と水田利用再編対策との矛盾に対する考え方、転作による農家経済への影響と農村社会崩壊の危険性、

②公共投資のあり方に関し、コムケ湖開発について、しゅんせつ土砂の処理方法、投資効果の有無、事業推進に当たっての関係住民との話し合い及び内水面共同漁業権との関連、当該事業への人員配置、計画再検討の考え、

③社会福祉問題に関し、白糠町における里子被害事件について、里親依頼の際の判断、委託後の里子相談指導体制、当該事件における里親への児童相談所の対応、児童福祉司及び相談員の業務及び相互連携の充分性等について質問があり、知事から答弁。舟山議員から再質問、知事から答弁。ついて

吉田 英治議員（社会）から、①福祉・医療問題に関し、乳幼児医療費公費負担対象年齢拡大の見通し、公立病院経営の助成措置に係る国への要請方、道単独の助成援助の考え、道東の医科大学誘致の見通し、衛生大学の設立準備の考え方、今後の救急医療体制整備の進め方、②財政問題に関し、公約実現に向けての明年度予算編成方針及び発展計画における施策の取扱い、公共投資消化の見通し、③工業の試験研究に関し、地場工業の育成強化策、道立工業試験場の設備整備の見通し、長期的展望に立った試験研究の充実についての考え方、地場製品開発基金創設の見通し等について質問があり、知事から答弁。吉田議員から再質問、知事から答弁があり、ついて

奥野 一雄議員（社会）から、①老人医療問題に関し、今回の公費負担拡大の実施案と公約との関連並びに「福祉的観点」の考え方及び家族

条件の妥当性、総合医療協議会についての考え方、今回の実施案と現行制度との比較、市町村への財政負担の妥当性、

②雇用問題に関し、雇用保険90日給付問題への取組み経過及び本道の特殊性との関連、特別交付税獲得に係る国との折衝方、積雪寒冷地冬期雇用促進給付金における給付額引上げへの努力方及び道費の上置き措置の考え、同制度の普及・指導方針、道単独事業を行う考え等について質問があり、知事から答弁。奥野議員から再質問、知事から答弁があり、ついて、

伊藤 豪議員（道政）から、①遷延性意識障害患者問題に関し、福祉行政の基本的姿勢、遷延性意識障害患者に対する行政対応、患者の状況と家族の生活実態の調査の必要性、専門機関の設置による研究、患者と家族に対する援護措置、国の援護制度確立の要望方、

②北方圏構想に関し、同構想の今後の推進方、本道農業の特質と寒地農業の確立、防寒耐久住宅の建設促進対策、住宅建設の冬期施工に関連して道営住宅の冬期間建設の考え、地域暖房のシステム化の積極的展開、北方圏との人的交流と道職員の海外研修の機会増大、サハリン天然ガス開発事業、アラスカとの漁業協力及び農業協力事業の現状と道のバックアップ、教育における北方圏の取扱い、北方圏諸国とのスポーツ及び文化交流の現状と今後の見通し、

③教育長期総合計画に関し、教育に取組む知事の政治姿勢、同計画における芸術大学等大学高等教育の整備への対応方針、大学の公開講座拡充等地域社会教育についての今後の対応、各種学校の充実拡大に対する見解、教育に関する関係行政機関との連携強化、幼児教育と保育の一元化への取組み方、障害児に係る幼児教育についての今後の対応策、道特殊教育センター構想と道心身障害者総合相談所構想の関連及び実現見通し、本道青少年に対する精神的指針等について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって、午後5時35分延会。

○12月16日（金） 午前10時44分開議、諸般の報告（人事委員長からの議案第32号ないし第35号及び第37号ないし第39号に関する意見書提出、本日の会議録署名議員）の

後、日程第1議案第1号ないし第39号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

伊藤 武一議員（公明）から、①福祉問題に関し、乳幼児医療費公費負担に係る道総合医療協議会への諮問内容と実施時期、母子家庭医療費の公費負担拡大の見通し、53年度からの介護手当増額の検討方、民間福祉施設の消防用設備に対する助成の考え方、1歳半児童健康診査制度の現状認識と今後の指導方針、医師及び保健婦等健診担当者の資質向上対策、白糠肢体不自由児養護施設の工事着工見通し、老人医療の拡大に伴う市町村国保財政に対する助成対策、高額療養費支給制度に係る受領委任方式に対する見解、

②財政問題に関し、53年度予算編成の重点項目、景気対策に係る地方債の元利償還費についての国の措置方、

③教育問題に関し、高校の中途退学者増加の現状と原因及び今後の対策、教員採用と教員養成のあり方、小中学校の校舎及び屋内運動場の整備状況並びに国の補助制度改善への取組み方、学校用地取得事業に対する国庫補助制度の拡充と補助率等改善の要請方、校舎の改築に関する補助認定基準改正の必要性、市町村における教育施設に係る超過負担の実態と対処策、白糠肢体不自由児養護施設に係る養護学校の建設見通し等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。伊藤議員から再質問、知事及び教育長から答弁があり、ついで

川崎 守議員（共産）から、①知事の政治姿勢に関し、北海道婦人行動計画作成の考え方、市町村の縁故債利率引下げに係る関係金融機関への申し入れ方、

②福祉・医療問題に関し、老人医療費公費負担拡大の実施案に関連して、家族条件の撤廃、国保財政に対する全額補助及び実施案の撤回に対する見解、

③雇用、失業、不況問題に関し、季節労働者対策の根本的解決としての90日支給復活に対する見解、道単独事業の実施による仕事確保に対する見解、公共事業に係る格づけ業者の発注状況とC、Dクラス業者の受注機会拡大、下請業者に対する代金支払いに係る実態調査と指導方、前金払い及び部分払いに係る下請保護の指導

方、函館ドックの不況問題への道の対処策、

④農漁業問題に関し、水稲作付面積に係る発展計画の指標見直しの考え、転作農家への指導方針、転作目標面積の割り当て実施に当たりの考え方、食糧検査事務所及び改良普及所のあり方、イカ資源の保護対策、砂原町水産物流通加工センター形成事業と砂原町水産加工業協同組合の経営不振との関連、

⑤岩内原発問題に関し、原発の安全性についての考え方、漁業への影響に対する考え方、

⑥教育問題に関し、第4次教員定数改善計画の53年度完全実施に対する考え方、私学の来年度授業料、入学金の据え置き等のための予算措置と強力な指導方、私立幼稚園における労働条件の実態調査と対策、総合選抜制の実施方法、配分方法及び学区の線引きに係る作業の進捗状況、総合選抜制度実施と高校新增設計画見直しとの関連、重度障害児に対する訪問指導教育対策、精薄施設入所者の就学対策、特殊学校就学奨励費の増額に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。川崎議員から再質問及び再々質問があり、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、川崎議員から質問、知事から答弁があって、質疑並びに一般質問を終結。

ついで、牧野唯司議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人からなる予算特別委員会及び27人からなる決算特別委員会を設置し、これらの案件を付託のうえ、審査されたいとの動議が提出され、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定し、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第11号、第14号及び第23号ないし第36号は予算特別委員会に、報告第1号は決算特別委員会にそれぞれ付託した。

次に、残余の案件について、議案第12号、第13号及び第38号は文教林務委員会に、議案第15号及び第17号ないし第21号は建設委員会に、議案第16号は水産委員会に、議案第22号、第37号及び第39号は総務委員会にそれぞれ付託した。

次に、各委員会付託議案審査のための休会について、異議なく12月17日1日間（18日は休日）休会、12月19日再開することに決定して、午後2時1分散会。

○予算特別委員会委員

伊藤 武一（公明） 青木 延男（社会）
一野坪 勉（社会） 青山 正男（自民）

石山直行(自民) 岩田徳弥(自民)
 伊藤豪(道政) 北村義和(自民)
 高木繁光(自民) 中崎昭一(自民)
 岩崎守男(社会) 岡本栄太郎(社会)
 柳谷正一(公明) 川崎守(共産)
 池島信吉(社会) 熊谷克治(社会)
 野村権作(自民) 米田忠雄(自民)
 和田勝之(自民) 伊藤知則(自民)
 岩本政光(自民) 石川十四夫(道政)
 小笠原孝(自民) 小沢栄吉(自民)
 工藤万砂美(自民) 若狭靖(自民)
 山家勇(社会) 小堀秀次(社会)
 田莉子政太郎(自民) 三上勇(自民)
 佐藤幹夫(自民)

○決算特別委員会委員

伊藤武一(公明) 浅川正敏(自民)
 岩田徳弥(自民) 高田忠雄(道政)
 大場信吾(自民) 高木繁光(自民)
 岡本栄太郎(社会) 渋谷澄夫(社会)
 高江良男(社会) 柳谷正一(公明)
 川崎守(共産) 吉田英治(社会)
 池島信吉(社会) 熊谷克治(社会)
 新沼浩(自民) 野村権作(自民)
 林勝(自民) 平野明彦(自民)
 米田忠雄(自民) 石川十四夫(道政)
 水沼徳一郎(自民) 東典俊(自民)
 阿部恵三男(自民) 山家勇(社会)
 三上勇(自民) 杉本栄一(自民)
 深山和圀(自民)

○12月19日(月) 午後1時50分開議、諸般の報告(予算及び決算特別委員会正副委員長の当選報告、知事から提出のあった議案第40号及び第41号、説明員の異動通知、請願第204号ないし第206号及び陳情第30号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員)の後、**日程第1議案第40号及び第41号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明の後、直ちに予算特別委員会に付託して、午後1時54分散会。

○12月20日(火) 午後4時19分開議、諸般の報告(請願第207号ないし第209号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員)の後、**日程第1会期延長の件**を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月21日まで1日間延長することに決定して、午後1時54分散会。

○12月21日(水) 午後4時26分開議、諸般の報告(説明員の異動通知、本日の会議録署名議員)の後、**日程第1会期延長の件**を議題とし、異議なく今期定例会の会期を12月22日まで1日間延長することに決定して、午後4時27分散会。

○12月22日(木) 午後4時18分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ午後4時19分休憩、午後11時2分再開し、諸般の報告(知事から提出のあった議案第42号及び第43号、議案及び陳情審査の結果報告、議案第1号、第23号及び第40号に関する修正動議の提出、議員から提出のあった決議案第1号及び第2号並びに意見案第1号、報告第1号並びに請願・陳情の閉会中継続審査の申し出、閉会中事務継続調査の申し出、本日の会議録署名議員)の後、**日程第1議案第1号ないし第11号、第14号、第23号ないし第36号、第40号及び第41号**を議題とし、**小堀秀次予算特別委員長(社会)**から、委員会における審査の経過と結果について報告。ついて岩崎守男議員(社会)ほか32人から提出の議案第1号、第23号及び第40号に関する修正案について趣旨説明の後、討論に入り、北村義和議員(自民)から、修正案反対・原案賛成の討論、柳谷正一議員(公明)から、修正案賛成・原案反対の討論がそれぞれあって、採決に入り、まず議案第1号、第23号及び第40号に関する修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政反対)をもってこれを否決。次に、議案第1号、第23号及び第40号のうち、修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第1号、第23号及び第40号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分の問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。ついで、日程第1のうち、残余の議案第2号ないし第11号、第14号、第24号ないし第36号及び第41号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。

次に、**日程第2議案第12号、第13号、第15号ないし第22号及び第37号ないし第39号**を議題とし、**原清重文教林務委員長(社会)**から、議案第12号、第13号及び第38号について、**小沢栄吉建設委員長(自民)**から、議案第15号及び第17号ないし第21号について、**吉田政一水産委員長(自民)**から、議案第16号について、**藤井猛総務委員長(自民)**から、議案第22号、第37号及び第39号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果を報告の後、議案第19号及び第20号について討論を行い、本間喜代人議員(共産)から、反対討論があって、採決に入り、まず議案第13号、第15号及び第16号を問題とし、起立採

決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第19号及び第20号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。ついで、日程第2のうち、残余の議案第12号、第17号、第18号、第21号、第22号及び第37号ないし第39号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。

次に、**日程第3議案第42号及び第43号**を議題とし、知事から提案説明があり、委員会付託を省略し、直ちに採決に入り、まず議案第42号のうち海老名利一君の北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、原案のとおり同意議決。ついで、議案第42号のうち遠藤博也君の北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。次に、議案第43号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決。

次に、**日程第4議案第2号**を議題とし、本間喜代人議員（共産）から趣旨説明の後、委員会付託を省略し、採決に入り、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。

次に、**日程第5議案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案可決。

次に、**日程第6意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案可決。

次に、**日程第7請願、陳情審査の件**を議題とし、委員長報告を省略のうえ、いずれも委員会決定（採択6件）のとおり決定。

次に、**閉会中報告第1号継続審査の件**について、異議なく決算特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査に付することに決定。

次に、**閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件**を議題とし、異議なく各常任委員長及び総合開発調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。佐々木豊議長から閉会のあいさつがあって、午後11時53分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、12月16日設置され、昭和52年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案26件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、速やかに審査を行うこととし、同日、直ちに正、副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式

によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては同日、分科正、副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、委員長岩崎守男君、副委員長和田勝之君

第2分科会は、委員長野村権作君、副委員長岡本栄太郎君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、17日から各部所管の審査に入り、21日をもって分科会の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

なお、12月19日に議案第40号及び第41号が追加付託されましたので、審査方法について協議の結果、本件については、分科会審査終了後、本委員会において質疑を行うこととし、本日の委員会において活発な議論が交わされた次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、最近における円の為替相場の急激な高騰に伴う輸出関連中小企業緊急対策、有珠山噴火災害対策、200海里漁業専管水域に係るその後の諸対策に要する経費、人事委員会勧告に伴う道職員等の給与改定経費及び公共事業の追加などを内容とする経費などでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ352億700万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書（別紙省略）により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、本日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第23号及び第40号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、議案第1号、第23号及び第40号につきましては、岡本栄太郎君外10人から修正案が提出され、採決の結果、少数をもって否決され、したがって、議案第1号、第23号及び第40号は、原案可決、その他の案件、議案第2号ないし第11号、第14号、第24号ないし第36号及び第41号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号、第23号及び第40号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

また、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見すなわち、

1. 老人医療費公費負担制度については、所得制限の緩和を含め、国に強くその拡大を要望するとともに、道が市町村と協力して独自に行う施策について、今後、

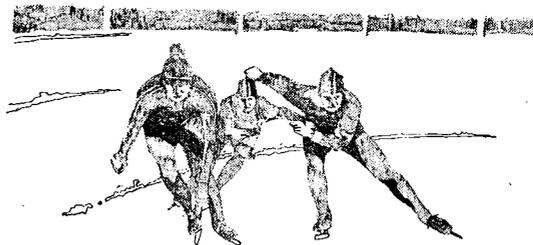
家族的条件の運用を実情に即して配慮する等、その充実を図り、さらに老人の健康づくりや疾病予防対策、医療供給体制並びに福祉施設の整備、在宅援護サービス、生きがい対策など、老人の保健福祉関連諸施策の充実強化に一層努力すべきである。

2. 老人医療費公費負担制度の実施に伴い、国民健康保険事業の健全な運営を図るとともに、市町村財源の確保に努力すべきである。

との付帯意見を付されたいとの動議が提出され、賛成者多数をもって、これを決定いたしました次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。



第4回定例道議会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
12. 9	1	昭和52年度北海道一般会計補正予算(第9号)	予算特別	12. 22	原案可決
同	2	昭和52年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	昭和52年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	4	昭和52年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	5	昭和52年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	昭和52年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	7	昭和52年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	8	昭和52年度北海道病院事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	9	昭和52年度北海道有林野事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	10	昭和52年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	11	昭和52年度北海道電気事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	12	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	13	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	14	北海道信用保証協会に対する出資の件	予算特別	同	同
同	15	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	16	漁港改修事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	17	北海道道の路線の認定廃止及び変更に関する件	建 設	同	同
同	18	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	同	同	同
同	19	石狩湾新港管理組合の設立に関する件	同	同	同
同	20	石狩湾新港の共同管理に関する件	同	同	同
同	21	財産の取得に関する件	同	同	同
12. 13	22	北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
12. 15	23	昭和52年度北海道一般会計補正予算(第10号)	予算特別	同	同
同	24	昭和52年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	25	昭和52年度北海道大麻団地開発事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	26	昭和52年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	27	昭和52年度北海道病院事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	28	昭和52年度北海道有林野事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	29	昭和52年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	30	昭和52年度北海道電気事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	31	昭和52年度北海道工業用水道事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	32	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	33	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 15	34	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	12. 22	原案可決
同	35	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	38	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	39	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
12. 19	40	昭和52年度北海道一般会計補正予算(第11号)	予算特別	同	同
同	41	昭和52年度北海道有林野事業会計補正予算(第4号)	同	同	同
12. 22	42	北海道採用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	43	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 9	1	昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	12. 22	継続審査
同	2	昭和51年度北海道継続費精算報告の件			報告のみ
同	3	昭和51年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	4	昭和51年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	5	専決処分報告の件〔損害賠償の額の決定11月8日1件、11月14日4件、11月15日1件、11月28日1件専決処分〕			同

議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 22	1	公立義務教育諸学校及び公立高等学校教職員定数の改善計画完全実施に関する要望意見書	原 清重君ほか 12人	12. 22	原案可決

決議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 22	1	道職員の綱紀肅正に関する決議	松浦義信君ほか 13人	12. 22	原案可決
同	2	老人医療無料化政策の制度化についての要望決議	本間喜代人君ほか32人	同	否 決

修正動議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 22	議案第1号(昭和52年度北海道一般会計補正予算(第9号)) 議案第23号(昭和52年度北海道一般会計補正予算(第10号)) 及び議案第40号(昭和52年度北海道一般会計補正予算(第11号))に対する修正動議	岩崎守男君ほか 32人	12. 22	否 決

決議・意見書

決議案第1号

(松浦義信君ほか13人提出)
12月22日 原案可決

道職員の綱紀肅正に関する決議

最近頻発する北海道職員の汚職及び不正事件は、公務員の名譽を著しく損うとともに、道政に対する道民の信頼を裏切る誠に遺憾きわまりない不祥事である。

このことは、道行政の執行体制についても是正すべき点があり、また、知事及び幹部職員の指導が徹底を欠いたことと一部職員の道義の低下によるものと断ぜざるを得ない。

よって、知事は、今後かかる不祥事件の絶無を期し、なお一層職員の道義心の高揚と厳正な職場規律の保持が図られるよう全庁あげて取組む体制とチェック機能を確立するなど万全の対策を講ずるとともに、今回の事件の関係者に対しては、道職員以外の者に対する措置も含め、厳正に対処すべきである。

右決議する。

昭和52年12月22日

北海道議会

決議案第2号

(本間喜代人君ほか32人提出)
12月22日 否決

老人医療無料化政策の制度化についての要望決議

今日、老人医療無料化の完全実施は、全国民的な政策課題となっている。

知事は、各都府県及び道内市町村の実情ならびに老人医療の実態なども勘案し、新年度以降に道条例等の制定を含む新制度を創出するよう要望する。

右決議する。

昭和52年12月22日

北海道議会議長 佐々木 豊

北海道知事 堂垣内 尚弘 殿

意見案第1号

(原 清重君ほか12人提出)
12月22日 原案可決

公立義務教育諸学校及び公立高等学校教職員 定数の改善計画完全実施に関する要望意見書

「公立義務教育諸学校の学校編制及び教職員定数の標準に関する法律」並びに「公立高等学校の設置、適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づく教職員定数改善5カ年計画は、教職員定数の充実と小規模学校及び特殊学校の学級編制等の改善をめざしたもので、この改善は、小規模学校の多い本道にとって、重要かつ緊急な課題でもあるので、昭和53年度において、既定計画どおり完全実施されるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
文部大臣、自治大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 今期定例会において各常任・特別委員会に付託された請願、陳情は次のとおりである。

請 願

文書表番号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 果 実
199	帯広盲学校教育施設設備改善などに関する件	帯広盲学校釧路地区父母の会 代表世話人 山口 一郎	文教林務	継続審査
200	北海道札幌東高等学校校舎改築に関する件	札幌東高等学校校舎改築期成会 会長 松宮 利市	同	同
201	精神障害者社会復帰訓練施設を江別保健所に設置の件	新日本婦人の会江別支部 代表者 叶 美智子	厚生	同
202	米の第2次生産調整のおしつけに反対し地域農業の振興と農家経営の安定・自主的発展を求める件	全農協労連北海道地方本部 執行委員長 藤田 昌久	農 務	同
203	北海道大型店舗出店調整条例（または指導要綱）早期制定施行に関する件	留萌市錦町1丁目 留萌商工会議所 会頭 対馬良行	商工労働	同
204	業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件	北海道民主商工団体連合会婦人部協議会 部長 伊藤富久子	厚生	同
205	業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件	北海道民主商工団体連合会婦人部協議会 部長 伊藤富久子	総 務	同
206	老人医療無料化制度の改善を求める件	函館市老人医療対策連絡協議会 代表 守口 弥一	厚生	同
207	元号法制化促進に関する件	元号法制化推進北海道連絡会議 代表 菅原 正ほか42人	総 務	同
208	大麻団地内に体育館建設の件	大麻自治連合会協議会 代表 栃本 弥ほか5人	建 設	同
209	昭和53年度水田転換面積および事前売渡し申込み限度数量再配分による適正化に関する件	中富良野町西中第三農事組合 組合長 藤沢康吉ほか1人	農 務	同

陳 情

文書表番号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 果 実
24	道立高等学校新設に関する件	札幌市南区藤野地区町内会連合会 会長 上山 正修	文教林務	継続審査
25	札幌市南区藤野に建設予定の道立高校開校促進等に関する件	新日本婦人の会札幌支部 会長 鈴木 甲子	同	同
26	国民体育大会の誘致に関する件	財団法人 北海道体育協会 会長 地崎宇三郎	同	採 択
27	準大型店舗における小売業の事業活動の調整をはかるための道条例若しくは指導要綱の早期制定に関する件	留萌市錦町1丁目 代表者留萌中央商店街振興組合 理事長 佐藤広義ほか6人	商工労働	継続審査
28	消費生活協同組合法の一部改正に関する件	留萌商工会議所 会頭 対馬 良行	厚生	同
29	北海道中央市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	留萌市職場を守る従業員の会 会長 野坂 昭徳	同	同
30	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	小樽臨港線整備促進期成会 代表 川合 一成	建 設	同

② 継続審査中のものであって、今期定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
186	国鉄札沼線整備に関する件	総 務	採 択
138	道立肢体不自由児養護学校早期設置に関する件	文教林務	同
142	北海道南幌高等学校道立移管に関する件	同	同
187	北海道札幌西陵高校等の早期充実に関する件	同	同
191	苫小牧市に公立高等学校間口増に関する件	同	同

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
27	家庭用灯油の値上げに反対の件	総 務
50	灯、重油の離島価格を解消するための緊急対策として燃料油の海上輸送運賃助成を求める件	同
56	藤野地区に警察官駐在所設置に関する件	同
57	伊達火発パイプラインを市街化区域の崎守町市街地の中央を通さないことを求める件	同
70	灯、重油の離島価格を解消するため緊急対策として海上輸送運賃助成を求める件	同
121	国鉄運賃等公共料金値上げ反対に関する件	同
134	千歳警察署庁舎建替えに関する件	同
160	信号機設置に関する件	同
172	積雪、寒冷地特別控除制度の新設に関する件	同
18	地域医療センター病院指定の件	厚 生
35	へき地医療センター設置の件	同
46	スモン対策に関する件	同
49	家庭用灯油値上げ反対の件	同
59	インフレ、不況に伴い低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
60	インフレ、不況に伴い低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	同
108	医療費の全面無料化に関する件	同
127	社会保険等診療報酬の概算払に関する件	同
136	風疹から婦人と子どもを守る対策を要求する件	同
144	道内看護学生の修学資金貸付制度改善に関する件	同
148	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
155	道内の民間社会福祉対策改善に関する件	同
162	稚内保健所の支所設置に関する件	同
168	健康保険の改定に反対する件	同
176	小型漁船乗組員の船員保険適用範囲拡大に関する件	同

文書番号	件名	付託委員会
189	パーキンソン病を道の特定疾患（難病）に指定することに関する件	同
197	視力障害者の職域である、はり、きゆう、あん摩、マッサージ、指圧の業権確保に関する件	同
198	北海道中央市民生活協同組合の留萌進出に反対する件	同
61	インフレ、不況に伴い低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	商工労働
100	雇用保険法改正に関する件	同
122	北海道電力の料金値上げに反対の件	同
131	中小企業事業分野確保法の制定に関する件	同
147	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同
167	季節労働者に対する雇用保険90日給付回復・関係業者の雇用安定仕事確保に関する件	同
170	季節労働者に対する地元就労事業の確保と雇用保険「90日支給」の復活に関する件	同
173	有料道路通行料の減免に関する件	同
181	競輪場誘致に反対する件	同
71	畑作後進地域等道費補助上おき削減の復活に関する件	農務
79	べべルイ川の改修など富良野地方の治山・治水対策の推進に関する件	同
126	伊達火焔パイプライン敷設反対の件	同
151	豚直接検定の実施に関する件	同
29	市街化区域編入の件	建設
37	大型車輛の団地内通り抜け防止のため代替道路整備の件	同
38	北区新川西町内の一部を市街化区域編入の件	同
80	べべルイ川の改修など富良野地方の治山治水対策の推進に関する件	同
94	北区屯田地区の市街化区域編入の件	同
130	国土開発幹線自動車道の路線変更の件（外1件）	同
140	道産カラマツ材の住宅構造用パネル材材としての利用に関する件	同
152	真駒内地区暖房料金の値上げ反対に関する件	同
156	札幌市東区光星地区における北海道熱供給公社の熱料金値上げ反対に関する件	同
161	道営住宅家賃の値上げをとりやめ、住宅の補修・改修と改築などの促進に関する件	同
163	道営北広島団地地域暖房料金の値上げ抑止に関する件	同
165	道営住宅家賃の大幅値上げをとりやめ、住宅の修理改築の要求に関する件	同
171	道営住宅家賃値上げ実施の延期と住宅の修繕及び環境整備の促進に関する件	同
174	北海道公営住宅家賃の是正に関する件	同
175	鳥崎川の水害防止工事に関する件	同
177	中沼団地地区の市街化区域編入に関する件	同
185	道道浦河大樹線の改修に関する件	同
114	秋さけ漁業調整に関する件	水産
115	さけ刺網漁業の認可に関する件	同
190	さけ、ます増殖拡大事業の実施に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付委託員会
7	釧路市に公立普通高校の新設、小学区制の回復（釧路市での総合選抜制）、私立高校生への授業料補助等に関する件	文 教 林 務
19	正規の資格をもった教員希望者の全員採用に関する件	同
30	宿日直員の待遇改善に関する件	同
41	標茶町に道立普通科高校設置に関する件	同
42	標茶町に公立普通科間口の新設促進に関する件	同
44	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
45	小樽市における全日制公立普通高校の新増設、小学制回復、私学への大幅助成に関する件	同
58	インフレ、不況に伴い低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
74	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
76	北海道浜益高等学校改築に関する件	同
93	非常勤講師の待遇改善に関する件	同
95	教員採用に関する件	同
96	学費値上げをやめさせ、父母負担の軽減をはかり生徒・児童にゆきとどいた教育を保障する件	同
103	稚内市における高校普通科の間口増、学校間の格差解消、私学への大幅公費助成に関する件	同
133	教員希望者全員採用実現教育予算大幅増に関する件	同
139	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
141	函館市に道立高校新設に関する件	同
143	北海道旭川商業高等学校の校舎改築に関する件	同
145	道立普通科高校の設置に関する件	同
153	教員採用に関する件	同
154	広島町立共栄小中学校の道立養護学校への移管に関する件	同
158	障害児学校寄宿舎に勤務する寮母の勤務条件の改善に関する件	同
159	私学教育の充実のために大幅な公費助成の件	同
166	北海道白糠高等学校校舎改築に関する件	同
182	公立高校の増設・小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
184	北海道砂川南高等学校校舎改築に関する件	同
194	道立羽幌高等学校早期改築に関する件	同
195	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
21	大雪山ろく研究学園都市設置に関する件	総 合 開 発 調 査 特 別
24	網走研究学園都市建設に関する件	同
31	十勝研究学園都市設置に関する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
7	北海道由仁保健所庁舎改築に関する件	厚 生
14	重度身障者療護施設設置の件	同
17	ミンク養殖農家の振興に関する件	農 務
12	石山地区豊平川河川敷地における砕石場の早期移転に関する件	建 設
13	道営住宅使用料大幅値上げ反対に関する件	同
15	北海道縦貫自動車道竹浦通過路線の変更に関する件	同
16	札幌圏都市計画の見直しに関する件	同
19	新住宅市街地開発事業による大麻団地あさはた公園に関する件	同
21	能取漁港建設に伴う網さけ定置第2号の漁場価値激減に対する補償の件	水 産
5	早来町に道立高等学校（普通科）設置に関する件	文 教 林 務
9	真駒内桜山の自然環境保全に関する件	同
18	札幌市南区下藤野白樺団地南側隣接地区の自然林保存に関する件	同
20	札幌市南区藤野地区内に道立高校新設の早期実現に関する件	同
22	札幌市南区藤野地区内に道立高校新設の早期実現に関する件	同
23	札幌市南区藤野に道立高校早期建設の件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○12月2日(金) 午後1時46分、議会運営委員会室において開議、午後1時51分散会

委員長 松浦 義信(自民)

- ① 議長から、奈良敬蔵議員(自民)の辞職願について法126条但し書の規定により、12月5日付をもって許可したい旨発言があり、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、元道議会議員石田露松氏(留萌支庁選出、13期、11月8日)及び朝日昇氏(十勝支庁選出、13期ないし15期、17期及び18期、11月9日)の逝去について報告。
- ③ 第4回定例会の招集期日を12月9日とすることを了承。会期は12日間とすることに決定。
- ④ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 第4回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

▽ 第4回定例会日程

12月9日	本会議(提案説明)
10日～12日	休会
13日	本会議(代表質問)
14日	同(代表質問・一般質問)
15日	同(一般質問)
16日～19日	休会(予算各部審査)
20日	本会議

- ⑥ 代表質問の順位について、自民、社会、道政、公明とすることを了承。ついで、質問の通告は、12月10日正午までとすることを了承。
- ⑦ 前期議会運営委員会からの申し送り事項については、理事会において協議、検討のうえ、本委員会に報告し決定することに決定。

○12月8日(木) 午後4時37分、議会運営委員会室において開議、午後4時43分散会

委員長 松浦 義信(自民)

開議に先だち、新財政課長の紹介があった。

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明の後、
本間 喜代人オブザーバー(共産)から、議案第19号及び第20号の関係自治体との関連について質疑があり、水沼徳一郎委員(自民)及び中田繁夫委員(社会)から発言があって、総務部長から答弁。
- ② 委員長から、奈良敬蔵議員(自民)について、12月2日付け辞職願に対し、議長は、12月5日付けをもっ

てこれを許可した旨並びに各派の所属議員(自民56人、社会27人、道政8人、公明6人、共産2人、欠員6人)について報告。なお、議席の変更は行わず、空席とすることに決定。

- ③ 常任委員の委員会所属変更について、田苅子政太郎総務委員の農務委員への所属変更の申し出について、明日の本会議において申し出のとおり変更することに異議なく決定。
- ④ 特別委員の補欠選任について、奈良敬蔵議員の辞職に伴う総合開発調査特別委員及び有珠山噴火災害対策特別委員の欠員について、自民党から推せん願うことを異議なく了承の後、伊藤 知則委員(自民)から、総合開発調査特別委員に佐々木利昭議員を補充する旨発言があって、明日の本会議において補欠選任することに異議なく決定。
- ⑤ 議案調査のため12月10日から12日まで休会とすることに決定。
- ⑥ 一般質問の通告は12月12日正午までとすることを了承。
- ⑦ 予算特別委員会の構成は31人(自民18人、社会8人、道政2人、公明2人、共産1人)、委員長及び第1分科委員長は社会、同副委員長は自民、第2分科委員長は自民、同副委員長は社会とすることに決定。ついで決算特別委員会の構成は27人(自民15人、社会7人、道政2人、公明2人、共産1人)、委員長は社会、副委員長は自民とすることに決定。委員名簿の提出は、12月13日正午まで、設置動議の提出は公明とすることを了承。

○12月9日(金) 午前10時37分、議会運営委員会室において開議、午前10時39分散会、

委員長 松浦 義信(自民)

- ① 総務部長から、石狩湾新港に関する議案について、本日提案する旨発言があり、異議なくこれを了承。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(開会)

- 日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
現議員の辞職許可報告
元議員の逝去報告
- 日程第2 会期決定の件(12月9日から12月20日までの12日間)
- 日程第3 常任委員の委員会所属変更の件
総務委員田苅子政太郎君の申し出のとおり農務委員に所属変更することについて簡易採決

日程第4 特別委員補欠選任の件
欠員中の総合開発調査特別委員に佐々木利昭君を補欠選任することについて簡易採決

日程第5 議案第1号ないし第21号及び報告第1号提出議案に関する知事の説明
議案調査のための休会日の決定（12月10日から12月12日まで）

○12月13日（火） 午後零時41分、議会運営委員会室において開議、午後零時49分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ② 代表質問の通告（4人）について報告の後、本日は2人行うことに決定。ついで、一般質問について、通告は9人であり、順序は従来の例により取り進めることに決定。
- ③ 一般質問の通告変更について、異議なく了承の後、14日は3人、15日は6人行うことに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第22号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第21号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（2人）

- ⑤ 総務部長から、出納長の本日の本会議欠席について説明があり、異議なくこれを了承。

○12月14日（水） 午前10時10分、議会運営委員会室において開議、午後5時39分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定の後、午前10時12分休憩、午後5時36分再開。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（代表質問2人、一般質問3人）

- ② 総務部長から、休憩前の本会議における保格博夫議員（社会）の質問に対する答弁準備になお時間を要する旨の発言の後、新沼浩委員（自民）及び星野健三委員（社会）から、それぞれ発言があり、本日の本会議は、この程度で延会することに決定。

○12月15日（木） 午前10時27分、議会運営委員会室において開議、午前11時53分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における保格博夫議員（社会）の質問に対する答弁準備になお時間を要する旨の発言があり、異議なくこれを了承。
- ② 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ③ 一般質問の通告変更について、異議なく了承。
- ④ 予算特別委員会について、各分科会の構成は、第1分科会自民9人、社会4人、道政、公明各1人、第2分科会自民9人、社会3人、道政、公明、共産各1人とすること、委員の指名は、配付の名簿のとおりとすること、設置動議は、牧野唯司議員（公明）に提出願うことを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 休会について、12月17日を休会とし、12月19日再開することに決定の後、午前10時37分休憩、午前11時50分再開。
- ⑦ 総務部長から、保格博夫議員（社会）の質問に対する答弁準備ができた旨発言。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（1人）

（日程第1の議事中止を行い）

追加日程 議案第23号ないし第39号

追加提出議案に関する知事の説明

（日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続）（一般質問4人）

○12月16日（金） 午前10時2分、議会運営委員会室において開議、午前10時5分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第39号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（一般質問2人）
（質疑終結宣告）

予算及び決算特別委員会設置

予算及び決算特別委員の指名

議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定

○12月19日（月） 午後1時5分、議会運営委員会室において開議、午後1時10分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明の後、議案第40号及び第41号を、予算特別委員会に付託することをはかり、異議なく決定。
- ② 各委員会付託議案の審議状況について説明。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第40号及び第41号

- ④ 要望意見書の取扱いについて、理事会決定の配付の改正案（意見書の議決様式について、法第99条2項の規定及び関係行政実例の趣旨に鑑み意見書提出の宛先は関係行政庁のみとし、衆参両院議長の宛名及び付記事項は削除。また、議決後の意見書提出の事務取扱等についての所要の改正等）のとおり一部改正することを本委員会の決定事項とし、昭和52年第4回定例会から実施することに異議なく決定。

○12月20日（火） 午後2時15分、議会運営委員会室において開議、午後3時53分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告の後、議事進行の都合により午後2時20分休憩、午後3時50分再開。
- ② 会期延長について、1日間延長することに異議なく決定。
- ③ 委員長から、各委員会の審議状況については明日の委員会に報告し協議する旨報告の後、星野 健三委員（社会）から発言があり、委員長から応答。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 会期延長の件

○12月21日（水） 午後2時27分、議会運営委員会室において開議、午後4時14分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 委員長及び予算特別委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、午後2時40分休憩、午後4時12分再開。
- ② 会期延長について、1日間延長することに異議なく決定。
- ③ 佐々木豊議長から、予算特別委員会における質疑について発言。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 会期延長の件

○12月22日（木） 午後4時6分、議会運営委員会室において開議、午後10時47分散会
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 取りあえず時間延長を行うことに決定して、午後4時8分休憩、午後10時42分再開。
- ② 総務部長から、追加提出案件について説明。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況並びに昭和51年度各会計歳入歳出決算に関する件の継続審査の決定について報告。
- ④ 岩崎守男議員（社会）ほか32人提出の議案第1号、第23号及び第40号に関する修正案について、本日の本会議に上程することに決定。
- ⑤ 決議案第1号（道職員の綱紀粛正に関する決議）について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定し、提出者は議会運営委員及びオブザーバーとし、本日の本会議において議決することとした。
- ⑥ 決議案第2号（老人医療無料化政策の制度化についての要望決議）及び意見案第1号について、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑦ 前期議会運営委員会からの申し送り事項の決算特別委員会の「総体質疑」と「総括質疑」の性格とそのあり方について、各派から意見の提出があり、理事会協議の結果、引き続き本委員会において検討することとし、昭和51年度決算の審査方法については、決算特別委員会において協議のうえ取り進め、審査日程については、決算特別委員会審査に関する議会運営委員会申し合せ事項を確認することを本委員会の決定事項とした。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第11号、第14号、第23号ないし第36号、第40号及び第41号
予算特別委員長の報告
岩崎守男議員の議案第1号、第23号及び第40号の修正案に関する説明
（討論）

北村義和議員の議案第1号、第23号及び第40号の修正案に関する反対討論
柳谷正一議員の議案第1号、第23号及び第40号の修正案に関する賛成討論

- (採決)
岩崎議員ほか32人提出の議案第1号、第23号及び第40号に関する修正案を問題とし起立採決(自民、道政反対)
議案第1号、第23号及び第40号の予算特別委員長報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて起立採決(社会、公明、共産反対)
議案第1号、第23号及び第40号の予算特別委員長報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて簡易採決
議案第2号ないし第11号、第14号、第24号ないし第36号及び第41号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて簡易採決
- 日程第2 議案第12号、第13号、第15号ないし第22号及び第37号ないし第39号
文教林務、建設、水産、総務各委員長の報告
(討論)
本間喜代人議員の議案第19号及び第20号に対する反対討論
(採決)
議案第13号、第15号及び第16号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて起立採決(社会、公明、共産反対)
議案第19号及び第20号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて起立採決(社会、共産反対)
議案第12号、第17号、第18号、第21号、第22号、第37号ないし第39号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて簡易採決
- 日程第3 議案第42号及び第43号
追加提出議案に関する知事の説明
(委員会付託省略)
(採決)
議案第42号のうち海老名利一君の北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件を問題とし、本件を原案のとおりに同意することについて起立採決(共産反対)
議案第42号のうち、遠藤博也君の北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件を問題とし、本件を原案のとおりに同意することについて簡易採決
議案第43号を問題とし、原案のとおりに同意することについて起立採決(共産反対)
- 日程第4 決議案第2号
本間喜代人議員の決議案第2号に関する説明
(委員会付託省略)
(採決)
本件を原案のとおりに決することについて起立採決(自民、道政反対)
- 日程第5 決議案第1号
(説明及び委員会付託省略)
(採決)
本件を原案のとおりに決することについて簡易採決
- 日程第6 意見案第1号
(説明及び委員会付託省略)
(採決)
本件を原案のとおりに決することについて簡易採決
- 日程第7 請願、陳情審査の件(採択6件)
いずれも請願陳情審査報告書のとおりに決することについて簡易採決
- 閉会中継続審査の件
決算特別委員長から報告第1号について申し出のとおりに閉会中の継続審査に付することについて簡易採決
- 閉会申請願、陳情継続審査及び事務調査の件
各常任委員長及び総合開発調査特別委員長から申し出のとおりに、閉会中継続審査又は調査に付することについて簡易採決
議長の閉会のあいさつ
- ⑨ 佐々木豊議長から、本日の本会議の取り進め方について発言があり、異議なくこれを了承。

常任委員会

総務委員会

○12月8日(木) 午前11時8分、第5委員会室において開議、午前11時43分散会
委員長 藤井 猛(自民)

開議に先だち、人事異動に伴う道幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 総務部長から、道職員の汚職にからむ不祥事件について報告し、陳謝の後、湯本 芳志委員(社会)から、従来の不祥事件に対する総点検、管理監督者の処分について舟山 広治委員(社会)から、職務体制について、質疑及び意見があり、総務部長から答弁。
- ② 総務部長、開発調整部次長、生活環境部長及び道警総務部長から第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した国鉄札沼線等の道内調査及び地方行財政に関する他県調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

請願、陳情の審査

請願

第186号 国鉄札沼線整備に関する件 (採択)

○12月13日(火) 午後零時20分、第5委員会室において開議、午後零時27分散会
委員長 藤井 猛(自民)

一般議事

- ① 委員長から、田苅子 政太郎委員(自民)の農務委員会への所属変更について報告。
- ② 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ③ 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月15日(木) 午前10時4分、第5委員会室において開議、午前10時8分散会
委員長 藤井 猛(自民)

一般議事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月19日(月) 午前10時27分、第5委員会室において開議、午前10時31分散会
委員長 藤井 猛(自民)

一般議事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月22日(木) 午後9時8分、第5委員会室において開議、午後9時14分散会
委員長 藤井 猛(自民)

付託案件の審査

- 議案第22号(北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案)、議案第37号(北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)及び議案第39号(北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)をそれぞれ議題とし、総務部長及び道警本部警務部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方行財政対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

厚生委員会

○12月5日(月) 午後1時55分、第9委員会室において開議、午後4時55分散会
委員長 村上 馨明(自民)

開議に先だち、人事異動に伴う民生部幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 民生部長から、11月24日釧路児童相談所管内で発生した、里親による里子殺害容疑事件の概要について報告の後、中田 繁夫委員(社会)から、里親登録の手続方法、里親の適格性の調査実施の有無、今後の適切な指導方について質疑及び意見があり、民生部長から答弁。
- ② 民生部長から、老人医療の無料化の拡大に関し、北海道総合医療協議会の「医療と福祉にかかわる意見書」、制度実施について関係機関へ協力要請の結果、実施の方法について説明の後、中田 繁夫委員(社会)から、協議会の性格、協議会に対する知事の態度、協議会委員の構成、各種団体の反対意見への対処、内容を充実した制度の再検討方、子どもの有無を対象の基準としたことについて、石川 十四夫委員(道政)から、低所得者に対する制限の緩和について高江 良男委員(社会)から、65才まで無料化を実

施している市町村との格差是正、住民の意向を体した実施方について、

改発 治幸委員（社会）から、老人医療の無料化の基本的な目的、協議会がこの問題をとり上げたことについて、

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁の後、議事進行の都合により午後3時52分休憩、午後4時30分再開し、民生部長から補足答弁の後、

柳谷 正一委員（公明）から、今後の運用の適正化、制限緩和の見直し、国保財政に対する市町村の要望、実施段階で矛盾が出た場合の取扱いについて、質疑があり、民生部長から答弁。

○12月8日（木） 午後3時15分、第9委員会室において
開議、午後3時29分散会
委員長 村上 舜明（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における民生、衛生関係の事情調査及び老人医療無料化制度の存続と制度の拡充等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日（木） 午後8時20分、第9委員会室において
開議、午後8時23分散会
委員長 村上 舜明（自民）

一般議事

- ① 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

商工労働委員会

○12月8日（木） 午前11時8分、第8委員会室において
開議、午後零時20分散会
委員長 影山 豊（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した雇用の安定並びに金属鉱業政策の確立強化と千歳地域地質構造調査実施に関する中央折衝及び道外における商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 商工観光部長から、高圧ガス取締法に基づく国家試験漏えい事件並びに空知支庁に係る不祥事件について報告の後、

一野坪 勉委員（社会）から、商工観光部所管の試験の種類、実施の手順、実施時期、試験問題の国での印刷、保管方法、保管庫の鍵の取扱い、今後の改善策、不正合格者の処分とその範囲、通産省の不正合格者に対する考え方、保安係の人員、業務内容、チェックの体制、通産省の指摘内容、保安課の独立について、質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ③ 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日（木） 午後8時42分、第8委員会室において
開議、午後8時44分散会
委員長 影山 豊（社会）

一般議事

- ① 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び商業、鉱工業並びに観光振興対策の件ほか2件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

農務委員会

○12月8日（木） 午前11時10分、第7委員会室において
開議、午後1時45分散会
委員長 大平 秀雄（自民）

開議に先だち、委員長から、奈良敬蔵委員が12月5日付をもって北海道議会議員を辞職した旨報告。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した水田利用再編対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 農務部長から、第4回定例会提出予定案件及び道営競馬における禁止薬物陽性馬の発生に関し説明の後、保格 博夫委員（社会）から、競馬法上、抑制剤を使用した馬の出走の可否、薬物の検査体制について工藤 啓二委員（公明）から、不正事件が発生したきゅう舎関係者に対する行政処分について
- ③ 農務部長から、有機燐農薬ホスベルの使用残量等について説明の後、

保格 博夫委員（社会）から、有機燐農業ホスベルの登録取消後における、道のホスベル取扱に関する指導内容及び時期、在庫及び農家保有のホスベル処分方針MBCP剤含有農薬に対する指導方針等について

- ④ 農務部長から、昭和53年度転作等目標面積並びに予約限度数量に關し説明の後

津川 直一委員（道政）から、水田再編対策に係る道の推進方策等について

工藤 啓二委員（公明）から、国の水田再編対策に対する道の基本姿勢について

林 勝委員（自民）から、生産調整面積の支庁別配分の基礎及び時期について

岡本 栄太郎委員（社会）から、水田再編対策の見通し等について

水沼 徳一郎委員（自民）から、米の海外輸出等政策の検討について

林 勝委員（自民）から、委員会における支庁別生産調整数量配分案の検討について

質疑、意見及び要望があり、農務部長、畜産課長、農業改良課長から答弁。

○12月22日（木） 午後8時55分、第7委員会室において開議、午後9時5分散会
委員長 大平 秀雄（自民）

一般議事

- ① 委員長から、奈良敬蔵委員の後任として田莉子政太郎議員が本委員会委員に補充選任された旨報告の後、議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の扱いとすること、並びに農業振興対策に係る所管事務について、閉会中継続調査とすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

建設委員会

○12月8日（木） 午前10時53分、第4委員会室において開議、午前11時8分散会
委員長 小沢 栄吉（自民）

一般議事

- ① 委員長から、石狩湾新港地方港湾審議会委員として小沢栄吉委員長、高橋鉦副委員長の2名を推せんした

旨の報告。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

○12月22日（木） 午後8時52分、第4委員会室において開議、午後9時5分散会
委員長 小沢 栄吉（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第15号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案どおり可決することに決定。
- ② 議案第17号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第18号（河川法に基づく1級河川の指定等についての意見に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第19号（石狩湾新港管理組合の設立に関する件）、議案第20号（石狩湾新港の共同管理に関する件）をそれぞれ議題とし、土木部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定の後、
木村 喜八委員（道政）から、石狩湾新港管理組合の設立後における地元意見の反映について、付帯意見の動議があり、挙手採決の結果、挙手多数をもってこれを可決。
- ⑤ 議案第21号（財産取得に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方道整備促進の件はかる件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

農地開発委員会

○12月8日（木） 午前10時50分、第2委員会室において開議、午前11時17分散会
委員長 小野 秀夫（道政）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における農業基盤整備事業に関する事情調査の結果及び昭和53年度農業基盤整備関係国費予算並びに有珠山噴火災害復旧に関する中央折衝の結果の概要を報告書によりそれぞれ報告、異議なくこれを了承。
- ② 渋谷 澄夫委員（社会）から、有珠山噴火災害復旧事業に関し、道営畑総事業による排水改良工事の推進、調査設計費に対する事務費補助について
古川 靖晃委員（自民）から、稲作転換水田に係る基盤整備事業の早期実施について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。
- ④ 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日（木） 午後8時52分、第2委員会室において
開議、午後8時54分散会
委員長 小野 秀夫（道政）

開議に先立ち、農地開発部長から12月17日新聞報道のあった渡島耕地協会の問題に関し、経過等について報告があった。

一般議事

- ① 委員長から、所管事務調査の閉会中継続調査申し出での件についてはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

水産委員会

○12月8日（木） 午後1時35分、第6委員会室において
開議、午後1時50分散会
委員長 吉田 政一（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

韓国漁船操業並びに外国漁船による被害救済
について、 北海道指導漁業協同組合連合会理事長

○12月22日（木） 午後8時55分、第6委員会室において
開議、午後9時6分散会
委員長 吉田 政一（自民）

付託案件の審査

- 議案第16号（漁港改修事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、水産部長から説明の後直ちに採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 水産部長から、日ソ漁業長期協定交渉の妥結内容に関する概要について説明。
- ② 付託の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び水産業の振興対策について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。

文教林務委員会

○12月5日（月） 午後2時32分、第10委員会室において
開議、午後4時32分散会
委員長 原 清重（社会）

一般議事

- 教育長から、昭和53年度公立高校及び特殊教育諸学校適正配置計画について説明の後、
山家 勇委員（社会）から、公立高校における退学者数とその原因、退学者の状況を考慮した適正配置計画策定の有無、定時制高校を間口減とする根拠、53年度以降の特殊教育諸学校の整備計画、今年度の適正配置計画、公立高校の定員増に伴う私立高校の整備状況等について、

本間 喜代人委員（共産）から、定時制高校の間口減について地元及び学校長との話合いの結果、経済的効果を優先させた考え、企業に対する定時制のPRのあり方、定時制教員の専任率の現状及び今後の改善目標、学級減に伴う過員の人事異動の考え方等について、
若狭 靖委員（自民）から、学級増に伴う生徒の通学機関の確保策について
質疑及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

請願、陳情の審査

請願

- 第138号 道立肢体不自由児養護学校早期設置に関する件（採択）
- 第142号 北海道南幌高等学校道立移管に関する件（採択）
- 第187号 北海道札幌西陵高校の早期充実に関する件（採択）
- 第191号 苫小牧市に公立高等学校間口増に関する

○12月8日(木) 午後3時22分、第10委員会室において
開議、午後3時34分散会
委員長 原 清重(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外の文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月22日(木) 午後8時24分、第10委員会室において
開議、午後8時33分散会
委員長 原 清重(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第13号(北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、直ちに採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、公明、共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第12号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)、議案第38号(北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

請願、陳情の審査

陳情

第26号 国民体育大会の誘致に関する件 (採択)
残余の請願について、閉会中継統審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

一般議事

- ① 委員長から、教職員定数の改善計画完全実施に関する要望意見案を提出することをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について閉会中継統審査の扱いとすることに決定。
- ③ 教職員定数の改善要望及び昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

総合開発調査特別委員会

○10月21日(金) 午後5時40分、第1委員会室において
開議、午後5時55分散会
委員長 三上 勇(自民)

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継統審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、さきを実施した、和歌山、三重両県の開発事情調査の概要について、報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 委員長から、道内、道外の開発事情調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○11月4日(金) 午前10時52分、第1委員会室において
開議、午後1時42分散会
委員長 三上 勇(自民)

- ① 開発調整部次長から、新北海道総合開発計画(試案)について説明の後、
吉田 英治委員(社会)から、(1)発展計画と新北海道総合開発計画(試案)及びその全総との整合性に関し、新幹線の実現性、本道稲作の位置づけと水田面積確保の見通し、定住人口に対する考え方、広域生活圏と定住圏構想及び広域生活圏構想見直しの時期、(2)産業及び人口の分散と豊かな自然との調和について、
熊谷 克治委員(社会)から、発展計画と新計画指標の整合性、石油流通備蓄基地と大量備蓄基地の相違と設置計画について
藤井 虎雄委員(社会)から、石油備蓄基地に係る「推進する」と「検討する」との相違について
津川 直一委員(道政)から、開発計画推進のための他部との連絡調整について
川崎 守委員(共産)から、広域圏特別対策事業の推進状況及び今後の計画、離島の灯油備蓄施設の設定と運営状況について、
質疑及び意見があり、開発調整部長及び同部次長から答弁。

石炭対策特別委員会

○11月28日(月) 午後1時45分、第2委員会室において
開議、午後3時45分散会
委員長 東 典俊(自民)

- ① 委員長から、さきを実施した石炭並びに産炭地域振

興対策に関する中央折衝及び道外産炭地域事情調査の概要について、報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 商工観光部長から、産炭地域振興対策にかかわる各部所管事項について説明。
- ③ 委員長から、北炭再建問題並びに産炭地域振興対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 一野坪 勉委員（社会）から、北炭再建計画に対する道の実態把握とその対策、雇用促進住宅の全国枠と北海道枠、産炭地枠及び配分の基本方針について、
山家 勇委員（社会）から、52年度の出炭量、減産の要因とその対策、苫東火発に対する石炭の供給体制、既存炭鉱の安定出炭対策、隣接鉱区の開放、露天掘の跡地開放、炭鉱総合病院のその後の経過、道の地域センター病院との関連及び53年度予算編成にあたっての産炭地対策について、

岩崎 守男委員（社会）から、産炭地域の疾病予防対策について、

石川 十四夫委員（道政）から、産炭地市町村特別対策資金貸付金の増額、廃坑利用による石油備蓄計画の内容、石炭ガス化センターのその後の経過について、質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、労働部長、林務部長、衛生部長及び石炭対策本部事務局長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○12月8日（木） 午後3時31分、第1委員会室において開議、午後3時50分散会
委員長 若狭 靖（自民）

- ① 委員長から、北方領土早期復帰促進に関する山口県の再決議状況について報告。
- ② 委員長から、さきに実施した「北方領土展」及び「北方領土返還要求のつどい」出席並びに他府県への再決議要請の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 領対本部長から、鳥取市において開催の「北方領土展」及び「北方領土返還要求のつどい」並びに北方領土返還要求北海道キャラバン隊派遣状況について報告。
- ④ 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

北方領土問題未解決に伴う根室地域振興のための特別

措置について

根室市長

公害対策特別委員会

○12月8日（木） 午後3時37分、第2委員会室において開議、午後3時45分散会
委員長 田苅子 政太郎（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道外における公害状況等調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 生活環境部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 委員長から、昭和53年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

予算特別委員会

○12月16日（金） 午後3時32分、第1委員会室において開議、午後3時44分散会
委員長 小堀 秀次（社会）

正副委員長の互選

- ① 小沢 栄吉臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、野村権作委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、小堀秀次委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、岩崎守男委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、小笠原 孝委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 委員会の今後の運営等協議のため午後3時37分休憩、午後3時38分再開。休憩中協議の結果、まず、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して審議を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は15人とし、商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に係る総括質疑は本委員会において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 各分科会の委員についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員

一野坪 勉（社会） 石山 直行（自民）
高木 繁光（自民） 中崎 昭一（自民）

岩崎 守男 (社会) 柳谷 正一 (公明)
池島 信吉 (社会) 米田 忠雄 (自民)
和田 勝之 (自民) 伊藤 知則 (自民)
石川十四夫 (道政) 工藤万砂美 (自民)
若狭 靖 (自民) 山家 勇 (社会)

○第2分科委員

伊藤 武一 (公明) 青木 延男 (社会)
青山 正男 (自民) 岩田 徳弥 (自民)
伊藤 豪 (道政) 北村 義和 (自民)
岡本栄太郎 (社会) 川崎 守 (共産)
熊谷 克治 (社会) 野村 権作 (自民)
岩本 政光 (自民) 小笠原 孝 (自民)
小沢 栄吉 (自民) 田荊子政太郎 (自民)
三上 勇 (自民)

- ⑤ 各分科会に分科副委員長1名おくこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑥ 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ⑦ 議席についてははかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 本委員会の運営については、正副委員長及び各分科会正副委員長をもって構成する理事会において協議のうち、これを行うことをはかり、異議なくそのことに決定。

第 1 分 科 会

○12月16日 (金) 午後3時47分、第1委員会室において開議、午後3時57分散会
第1分科委員長 岩崎 守男 (社会)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長には岩崎守男委員 (社会)、分科副委員長には和田勝之委員 (自民) をそれぞれ選出。
- ② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営については、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
理事には、石山直行委員 (自民)、一野坪勉委員 (社会)、石川十四男委員 (道政)、柳谷正一委員 (公明) をそれぞれ選出。

○12月17日 (土) 午前10時53分、第1委員会室において開議、午後6時55分散会
第1分科委員長 岩崎 守男 (社会)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り

渋谷 澄夫委員 (社会) から、(1)警察職員の健康管理に関し、職員の死亡者増加の原因、年休行使率及び代替休暇の状況等勤務の実態、健康管理対策の現状、(2)交通対策に関し、複数死亡事故及び致死率が高い原因とその対策、国道と道道及び市町村道における交通事故の割合並びに「田舎道」の事故防止対策、交通違反を行った運転者に対する対策、デンジャーゾーン構想の現状と見通し等について

山家 勇委員 (社会) から、(1)交通安全対策と道路整備に関し、道路整備と交通事故の関連、交通安全施設の総点検と整備の進め方、(2)ハイジャック対策に関し、道内空港における警備体制の現状とハイジャック強化防止対策等について

湯本 芳志委員 (社会) から、綱紀肅正に関し、汚職関係業者への工事発注に対する見解と今後の方針等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、警務部長、交通部長及び警備部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時23分休憩、午後1時37分再開。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員 (共産) の本分科会への出席及び民生部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで、

中田 繁夫委員 (社会) から、老人医療費無料化問題に関し、今定例会に実施案を提案した経緯、52年2月の道医師会等と知事の会談内容及び知事公約における年齢引下げ範囲との関連、無料化拡大に対する道医師会の反対理由及びこれに対する道の姿勢、無料化による緊急医療への影響と実態把握の必要性、道総合医療協議会が老人福祉問題を扱うことの妥当性、同協議会の構成メンバーのあり方及び福祉的観点からの議論の必要性並びに医療を受ける側の意見の取扱い方等について

熊谷 克治委員 (社会) から、老人医療費無料化問題に関し、今回の実施案に対する評価、国に対する要望内容、現行制度により年齢拡大のできない具体的理由、他府県なみに拡大実施した場合の道費所要額、実施要綱提示の必要性等について

山家 勇委員 (社会) から、(1)外国からの一時帰国者の援護対策に関し、未帰還者の現況、永住帰国者及び一時帰国者に対する援護対策、追跡調査の実施等による対策の推進方、今後の帰還促進策、(2)社会福祉計画に関し、社会福祉長期計画の進捗状況及び発展計画への移行との関連、特別養護老人ホームの現状と見通し等について

伊藤 豪委員（道政）から、福祉問題に関し、道立内部障害者更正指導所の現状、入所募集の方法、今後の活用方策、同施設の敷地における未利用地の活用方等について

柳谷 正一委員（公明）から、老人医療費無料化問題に関し、無料化対象拡大の基本的考え方、今回の実施案における「福祉的観点」の考え方、家族的条件の妥当性、運用に係る市町村との関連、将来の老人人口の伸びとの関連における対象者の長期展望、実施案を修正する考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後6時15分休憩、午後6時18分再開し、ついで

川崎 守委員（共産）から、保育所問題に関し、全道の保育所における2歳未満児の状況、2歳未満児の措置率が低い実態に対する見解と今後の指導方針並びに既存保育所に対する設備改善の指導方、無認可保育所が多い原因とこれに対する財政援助の考え方、乳児保育のための特別単価引上げの関連等について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁が
あって、民生部所管に対する質疑を終結。

○12月19日（月） 午前11時3分、第1委員会室において
開議、午後5時6分散会
第1分科委員長 岩崎 守男（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

山家 勇委員（社会）から、(1)医療行政に関し、本道における保存血液の需給状況、献血受入機関の整備状況と今後の地域配置の進め方、献血者の恒久的確保のための啓発活動のあり方、(2)乳幼児の医療費公費負担拡大に関し、道総合医療協議会の構成メンバーのあり方と協議会への依存の妥当性、実施に当たっての医療を受ける側の意見の取り上げ方等について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁の後、委員長から、伊藤豪委員（道政）の質疑通告取り下げについて報告。ついで、

柳谷 正一委員（公明）から、医療行政に関し、フェニルケトン尿症の内容と患者の現状、血液検査のPR方法及び受検状況並びに医療過疎地域における対処策、治療機関の現状、先天性代謝異常児医療給付制度の内容、血液検査料に係る自己負担軽減の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁が
あって、衛生部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時30分休憩、午後3時56分再開。

② 生活環境部所管に対する質疑に入り、

池島 信吉委員（社会）から、環境影響評価問題に関し、環境アセスメントの条例化が遅れている理由及び国の動向との関連、公的機関の行う事業についての

考え方、審議会における条例案要綱の審議経過と作業促進への取り組み内容、条例が制定された場合の体制整備に係る対応策、第1回定例会における提案見直し、道独自の条例制定の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁が
あって生活環境部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後4時34分休憩、午後4時39分再開。

③ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。
ついで

渋谷 澄夫委員（社会）から、北海道社会貢献賞に関し、統計調査員の表彰についての基本的考え方とその基準、調査員の活動状況、表彰該当者の表彰浅れに対する考え方と今年度中に消化する考え及び明年度の方針、道統計調査協会連合会への交付金増額の考え等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○12月20日（火） 午前10時50分、第1委員会室において
開議、午後5時51分散会
第1分科委員長 岩崎 守男（社会）

① 開発調整部所管に対する質疑を続行、

山家 勇委員（社会）から、水資源問題に関し、道の水資源対策室設置の目的と今後の事業計画、水資源の利用状況、今後の需要増大に伴う対応策、水対策のための機構強化の必要性等について

小野 秀夫委員（道政）から、石油備蓄基地に関し、通産省から苫東基地に要請のあった石油備蓄基地の性格、同基地と石油備蓄法に基づく90日備蓄計画との関連及びその事業主体、備蓄機能重視型と中継機能重視型の関連、石油備蓄基地の地域経済にもたらす効果、苫東開発の理念と備蓄基地との関連、石油化学及び石油精製の立地見直し、石油備蓄の実現と石油精製企業の立地促進との関連及び通産省の「立地促進への配慮」に対する考え方、共同備蓄会社への参加企業に対する精製プラント建設の義務付け等の考え並びに石油精製企業の苫東立地が決定した時点で備蓄基地を認める考え、苫東における石油備蓄と輸送経費との関連、共同備蓄方式から国家備蓄に途中で変更する可能性、通産省からの要請文における「民生用石油製品の安定供給への配慮」の意味、国に対する石油備蓄に係る条件提示についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後零時34分休憩、午後2時43分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、国土法に関し、喜茂別町における土地分譲の事実内容及び国土法による届け出の有無、道の実態把握と今後の指導方針、当該不動産業者を告発する考え等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び土地水対策課長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後3時23分休憩、午後3時27分再開。

② 総務部及び各種委員会所管に対する質疑に入り、

委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び総務部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することををはかり、異議なくそのことに決定。ついて

山家 勇委員（社会）から、消防行政に関し、消防施設整備に対する国及び道の補助制度、市町村の普通会計に占める消防費の割合、補助金及び起債許可の決定時期のあり方、国の補助基準改定の必要性、消防団員の待遇改善に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。本会議開会のため午後4時4分休憩、午後4時45分再開。ついて

湯本 芳志委員（社会）から、綱紀粛正に関し、汚職事件に関係した元胆振支庁林務課長の退職に係る経緯と道の見解並びに退職金の取扱い、汚職事件に関係した業者に対する指名停止の根拠、札幌土建の汚職事件に関係した業者に対する処分の有無等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後5時34分休憩、午後5時38分再開し、総務部長から、休憩前の湯本委員の質疑に対する答弁の後、引き続き

湯本 芳志委員（社会）から、汚職関係業者に対する指名停止処分と道からの再発注との関連について質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後5時47分休憩、午後5時50分再開し、直ちに散会。

○12月21日（水） 午前11時7分、第1委員会室において開議、午後6時49分散会

第1分科委員長 岩崎 守男（社会）

① 委員長から、12月17日、民生部所管において熊谷委員から要求のあった資料の配付について報告。

② 総務部、各種委員会及び企業局所管に対する質疑を続行、

総務部長から、昨日の湯本委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、汚職事件に関係した業者に対する指名停止期間後の発注状況とそのあり方、当該業者に対する制裁措置の十分性、指名停止期間後

の「業者の反省」に対する調査方法と判断内容等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁があって、午前11時35分休憩、午後2時56分再開し、総務部長から休憩前の湯本委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、競争入札参加排除基準と指名停止基準との関連、胆振支庁の汚職事件に関係した贈賄業者に対する自治法施行令による入札参加排除の該当の有無等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁があって、午後3時15分休憩、午後3時23分再開し、総務部長から休憩前の湯本委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、入札参加排除基準における「偽計をもって競争入札の公正な執行」の妨害への当該贈賄行為の該当性について

質疑及び意見があった後、熊谷克治委員（社会）から、汚職業者に対する処分についての統一見解の提示方の議事進行発言があって午後3時30分休憩、午後6時42分再開し、総務部長から、休憩前の湯本委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、汚職業者に対する道の姿勢についての知事総括への保留について

発言があって、総務部、各種委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

○12月16日（金） 午後3時46分、第2委員会室において開議、午後3時54分散会

第2分科委員長 野村 権作（自民）

正副分科委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長には野村権作委員（自民）、分科副委員長には岡本栄太郎委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

③ 本分科会の運営については、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うこと、及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることををはかり、異議なくそのことに決定。理事には、北村義和委員（自民）、青木延男委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。

○12月17日(土) 午前10時21分、第2委員会室において開議、午後5時27分散会

第2分科委員長 野村 権作(自民)

① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

岡本 栄太郎委員(社会)から、国有地の処分問題に関し、富良野市山部町における開拓不用地処分の経過、上川支庁職員の関係者が払い下げを受けたことの妥当性並びに今後の適正な措置方等について質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午前11時47分休憩、午後1時7分再開。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員(社会)から、雇用問題に関し、季節労働者を含めた雇用問題に対する道の基本姿勢、季節労働者の実態把握と具体的な施策の現状、道外における求人開拓の具体的内容と就職状況、積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度の問題点と活用方策、道の未発注事業の総額並びに発注に際し季節労働者の雇用義務付けの考え、就労確保に係る努力目標の考え方、季節移動労働者福祉協会の改組に対する見解、就労の場確保のための道単独事業及び市町村事業に対する特別交付金による全額措置に係る見解等について

川崎 守委員(共産)から、雇用問題に関し、冬期就労期間及び本道の季節労働者数、冬期就労対策による就労確保人員、第1次公共事業による吸収人員の内容、市町村就労事業に対する道からの要望の有無並びに「特交」措置についての考え方、「特交」措置による道単独事業をする考え、短期職業訓練についての公共職業訓練所直轄と事業内訓練の割合、指導員増員による事業内訓練拡大に対する見解等について質疑及び意見があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後3時31分休憩、午後3時45分再開。

③ 農務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員(社会)から、米の生産調整に関し、転作目標面積配分後の「農民の声」の受けとめ方、国に対する意見申し出の有無、本道への配分に対する基本的考え方、食管制度の現状並びに本道農民への責任分担に対する見解、本道配分を受け入れるに際しての経過、53年水稲作付面積の見通し、農業生産地域指標試案及び今回の転作目標面積と発展計画との関連、転作条件整備のための特別措置の内容、農業改良普及員の転作に対する指導体制並びに普及員の配置のあり方、道内配分実施の基本的考え方及び農家の希望をとる考え並びにその配分時期、53年度における超過米全量政府買い上げについての考え方、農業団体からの国及び道への要求事項に対する見解、今ざり米供給体制の促進及び52年度超過米の早期処理等に対する取組み等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後5時25分休憩、午後5時26分再開し、直ちに散会。

○12月19日(月) 午前10時54分、第2委員会室において開議、午後6時22分散会

第2分科委員長 野村 権作(自民)

① 農務部所管に対する質疑を続行、

保格 博夫委員(社会)から、米の生産調整に関し、農業生産地域指標試案における水田本地面積と作付面積との格差に対する見解並びに作付率について本道と他府県の比較、潜在耕作可能面積についての考え方、本道水田の転作条件の有利性の有無、国の転作政策による発展計画への影響、畑作物価格に関連した転作作物の作付制限に対する考え方、適地適作の農業構造の確立等本道農業発展への取り組み方、転作条件整備の現状に対する考え方、転作の実態調査実施の考え、発展計画を修正し将来展望を示す考え、道内配分に当たっての基本的考え方等について

工藤 啓二委員(公明)から、減反問題に関し、今回の転作目標面積についての知事の受けとめ方に対する見解、各支庁への配分時期、配分の基準及び道独自の配分方法の考え、転作目標面積を返上して作られた米の取扱い及び食管法との関連等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時30分休憩、午後3時46分再開し、ついで

川崎 守委員(共産)から、減反問題に関し、水田利用再編対策大綱における再編計画策定の具体的内容、転作の「定着性の向上」の意味、53年の水稲作付面積の見通し、今回の転作目標面積の3年間固定の後に対する考え方、大豆及び小麦等の転作物物に係る指標の有無等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後4時36分休憩、午後4時49分再開し、農務部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

川崎 守委員(共産)から、(1)減反問題に関し、地域別の転作計画等策定の考え、転作補助がなくなった場合の転作物物の水稲所得との格差に対する考え方及び政府の施策、転作条件に関連して土地改良機械購入補助の考え、道の野菜価格安定制度の充実、(2)農地転用問題に関し、滝川市江部乙町における農業用貯水池造成のための農地転用許可について、工事完成が遅れた理由と道の指導内容、付近農家の水がれに対する道の責任と対処策等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により

午後5時47分休憩、午後6時21分再開し、直ちに散会。

○12月20日(火) 午前10時35分、第2委員会室において開議、午後6時53分散会

第2分科委員長 野村 権作(自民)

① 水産部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員(社会)から、当面する漁業問題に関し、日ソ漁業協定妥結に伴う道の受けとめ方と今後の対応策、根室海峡及び宗谷海峡等におけるソ連との境界線、津軽海峡と国際海峡との関連及び道の国への要望内容並びに外国漁船対策、沿岸漁業振興に関連して試験研究機関の充実への取組みと予算措置のあり方等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午前11時25分休憩、午前11時29分再開。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員(社会)から、中小企業対策に関し、中小企業倒産に対する道の実態把握状況とその対応策、倒産の地域別実態、円高問題に関連して、函館及び室蘭における道の不況対策、本道の輸出関連企業の実態、輸出関連中小企業緊急融資制度に係る貸付条件緩和に対する考え方及び金融機関への指導方針並びに関係業界への周知方、年末資金需要増に係る対応策、金利引下げの考え、中小企業制度融資の整理改善方、公共事業発注による中小企業への影響、岩宇4か町村に係る商工会設立要望についての指導内容と解決見通し等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後1時14分休憩、午後2時44分再開。ついで

藤井 虎雄委員(社会)から、電源開発問題に関し、本道の電力事情とエネルギーの長期見直し、発電所の建設計画、石炭火発の建設推進に対する見解、共和・泊原発の環境影響調査の現状、北電からの報告書提出の有無並びに道の審査方法、地元の意見及び道議会との関連、同原発建設に対する知事の「静観」解除の妥当性、原発の必要性に対する見解、放射性物質に係る影響調査の方法と安全性等について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。本会議開会のため午後4時1分休憩、午後4時43分再開し、商工観光部長から、休憩前の藤井委員の質疑に対する答弁の後、引き続き

藤井 虎雄委員(社会)から、原子力発電に係る放射能関係の安全性に対する審査主体、安全性についての道の考え方及び環境影響調査報告書の調査項目との関連等について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後5時27分休憩、午後5時47分再開

し、商工観光部長から、休憩前の藤井委員の質疑に対する答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後5時48分休憩、午後5時55分再開。

③ 林務部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員(社会)から、(1)造林事業に関し、造林事業費に係る14億円減額補正の理由、今後の造林促進対策及び造林補助金拡大の見直し、発展計画における計画量達成の見直し、(2)営林局廃止問題に関し、その内容掌握の状況、本道林産業への影響、合理化案に対する見解と道の対応策等について
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○12月21日(水) 午前10時17分、第2委員会室において開議、午後5時9分散会

第2分科委員長 野村 権作(自民)

① 土木部所管に対する質疑に入り、

舟山 広治委員(社会)から、(1)治水行政に関し、本道の治水行政の現状と基本方向、牛末別川の改修計画、総合治水対策の必要性、(2)道路行政に関し、市町村道整備の遅延に対する今後の考え方、旭川における今後の道路整備の進め方、道道昇格路線の具体的方針、道道東鷹栖永山線における連絡道路橋の今後の見直し、
本間 喜代人委員(共産)から、石狩湾新港に関し、管理組合の議員定数の根拠と今後の考え方、港湾の名称に係る経緯と今後の考え方等について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午前11時47分休憩、午前11時51分再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

牧野 唯司委員(公明)から、住宅問題に関し、国の第3期住宅建設5カ年計画変更に対する見解、国の住宅政策に対する見解、5カ年計画の見直しへの考え方と実態調査の内容、景気浮揚と住宅対策との関連、道営住宅と市町村営住宅との配分方針、公的住宅の家賃高額化への対応策、家賃決定と道条例運用の考え方、敷金徴収に対する今後の考え方、家賃収入と修繕費との比率根拠並びに道条例に修繕の義務づけがない理由等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後1時休憩、午後2時59分再開。

③ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

委員長から、熊谷委員の質疑通告の取下げについて報告の後、ついで

川崎 守委員(共産)から、(1)障害児教育に関し、養護学校の義務化に伴う54年度開校予定の七飯地区養護学校の計画内容と見直し、スクールバスの運用方法、

函館地区の病弱児の養護学校設置計画及び五稜郭病院との話し合い内容並びに関校見直し、肢体不自由児の養護学校設置計画と関校見直し並びに敷地との関連、(2) 高校教育に関し、松前高校の間口増に伴う施設の状態と53年移転改築の見直し、上磯高校の間口増を行なわなかった理由、私立高校において定員をオーバーしている状態に対する見解、総合選抜制の早期導入及び進学率との関連等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。本会議開会のため午後4時15分休憩、午後4時51分再開し、引き続き

川崎 守委員（共産）から、私学教育に対する道教委の関連性、函館市と周辺地区高校の間口増の関連性に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ④ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○12月21日（水） 午後8時2分、第1委員会室において開議、午後9時23分散会

委員長 小堀 秀次（社会）

- ① 委員長から、12月19日に付託された議案第40号及び第41号の取扱いについてはかり、異議なく本委員会において審査することに決定。
- ② 追加付託案件議案第40号及び第41号に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、議案第40号補正予算に係る公共事業に関し、公共事業の景気浮揚対策としての経済効果、今回補正の経済効果の見直し、250億円補正予算の根拠、公共事業の拡大による雇用効果、中小建設業者に対する波及効果、入札時における季節労働者の雇用指導の方法とその実績、冬季施工の研究開発の現状と見直し、事業費における用地、補償費の割合及び雇用拡大のため労務費の割合を高める必要性、今回補正における事業の年度内消化の見直し、公共事業の増大に対応する執行体制の現状、下位ランク業者への発注状況に対する考え方、共同企業体における弱小業者の実態及び工事契約との関連、今回の公共事業の発注に当たっての地元中小建設業者に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、労働部長、土木部長、農地開発部長、林務部長及び住宅都市部長から答弁。

○12月22日（木） 午前10時28分、第1委員会室において開議、午後10時閉会

委員長 小堀 秀次（社会）

- ① 追加付託案件議案第40号及び第41号に対する質疑を続行、

工藤 啓二委員（公明）から、追加公共事業に関し、景気対策としての公共事業と民間事業との関連、今回の補正予算における年度内完成分の工事内容及び雇用拡大の効果、用地買収費の割合と景気浮揚効果との関連、「冬の克服」のための道独自の研究機関の有無と北欧等への実情調査の考え、公共事業の発注における季節労働者の雇用拡大方策等について

川崎 守委員（共産）から、追加公共事業に関し、最近における円高の要因と政府の対応、内需拡大に必要な施策、民間設備投資拡大の見直し、政府の景気対策による個人消費拡大及び雇用安定の実現見直し、円高の本道産業への影響、今回の公共投資の輸出関連企業への波及効果、造船業界に対する公共事業の発注見直し、景気浮揚効果としての生活基盤型公共投資と産業基盤型公共投資の関連、市町村における公営住宅の建設未消化に対する考え方、並びに道が建設する考え、今回の補正予算における公園及び下水道の事業内容、追加公共事業の各支庁割当て並びに業界の対応体制、下位ランク業者への発注見直し及び新規業者の取扱い、3月までの事業による労働者の吸収率、季節労働者の債務負担行為等による場合の早期雇い入れに対する積寒給付金の利用についての考え方等について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、土木部長労働部長、商工観光部長及び住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後零時29分休憩、午後1時44分再開。

- ② 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ③ 知事に対する総括質疑に入り、

中田 繁夫委員（社会）から、老人医療無料化に関し、50年知事選の際の老人医療費に関する公約内容及び「みんなで築こう北海道の会」の発表した政策との関連、無料化に関する国への要請内容、公約内容及び今回の実施案との比較及び無料化対象人員との関連、他府県の実施状況に対する見解、知事任期中に更に拡大する考え、無料化拡大についての医師会の考え方に対する見解及び本道の医療体制の現状との関連、老人医療問題に取組む知事の姿勢、老人代表及び福祉団体等を加え再検討する考え方等について

質疑及び意見があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後3時37分休憩、午後3時58分再開し、本会議開会のため午後3時59分休憩、午後4時37分再開。知事から、休憩前の中田委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

中田 繁夫委員（社会）から、老人医療に関する市町村の要望意見等についての考え方及び今後の改善への努力姿勢等について

熊谷 克治委員（社会）から、老人医療無料化に関し、京都府方式の所得税非課税世帯を対象とした場合等の道の財政負担及び51年度決算における剰余金との関連、滋賀県方式の対象人員とした場合に対する現行医療体制の対応能力、補助要領における家族的条件の特例についての基本的考え方、心身障害者級該当者及び学生等の特例除外の妥当性等について、

渋谷 澄夫委員（社会）から、米の生産調整問題に関し、本道への転作目標面積の受けとめ方、食糧制度の維持と本道の責任分担についての考え方、減反配分の返上に対する見解、他府県の転作目標面積に対する考え方、稲作地域としての本道の位置づけについての考え方、本道の稲作面積についての農林省の指標と来年の作付推定面積とに対する道の対応の違い並びに将来の見通し、「農民の理解と協力」を求める具体的な対策、転作目標面積の道内配分についての基本的考え方、超過米全量政府買い上げに対する見解等について

舟山 広治委員（社会）から、漁業問題に関し、沿岸漁業環境の保全及び漁業資源の増殖等のための試験研究体制樹立の必要性、予算措置についての考え方、中央水試に対する道の取組み等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び民生部長から答弁。委員長から、青木延男委員（社会）の質疑通告取り下げについて報告の後、午後6時34分休憩、午後6時37分再開。ついで、

湯本 芳志委員（社会）から、網紀肅正に関し、汚職関係業者に対する道の措置の妥当性、事務処理要綱における競争入札参加排除基準を改める必要性、道政執行のシステムと不祥事発生との関連に対する見解、業界への厳正な対応による再発防止の決意等について

川崎 守委員（共産）から、農地転用問題に関し、滝川市江部乙町における農業用貯水池造成のための農地転用許可について、造成工事遅延の理由、不十分な行政指導の責任、砂利採取の状況、付近住民の水がれの実態とその原因、アヒル養殖池造成のための農地転用及び砂利採取の場合の許可理由並びに水がれ問題との関連、現地調査実施の有無、砂利採取を中止させる考え及び今後の解決方針等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び商工観光部長から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

④ 付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。意見調整のため午後8時40分休憩、午後9時50分再開。

⑤ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第23号及び第40号について、岡本栄

太郎委員（社会）ほか10人から修正動議が提出されている旨を報告の後、議案第1号、第23号及び第40号を一括議題とし、岡本栄太郎委員（社会）から、社会、公明、共産3党提出に係る修正案について趣旨説明があって、質疑並びに討論なしと認め、直ちに採決に入り、修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもって否決と決定。次に、修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。次に、修正案に係る部分を除く原案部分を問題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。ついで、岡本栄太郎委員（社会）から、議案第1号、第23号及び第40号に対する修正案について少数意見を留保する旨を発言。

次に、議案第2号ないし第11号、第14号、第24号ないし第36号及び第41号を一括議題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。

ついで、伊藤豪委員（道政）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、議案第1号について、次の2項目の附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって、異議なくそのことに決定。

⑥ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

注 決算特別委員会については、委員長報告を行う定例会特集号に一括掲載いたします。

資 料

第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	12. 22	12. 23	北海道条例第37号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号
北海道知事等の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第39号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第40号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第41号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第42号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第43号
北海道企業職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第44号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第45号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第46号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第47号

12月のメモ

- 1 ○大蔵省、11月末の外貨準備高を発表。221億4,900万ドルと初の200億ドル突破。
- 2 ○閣議、52年版厚生白書（51年度厚生行政年次報告書）を了承。副題は「高齢者社会の入り口に立つ社会保障」。
○厚生省、薬害救済法案を発表。適用条件を限定、既発被害対象とせず。
- 4 ○マレーシア航空機、ペナンを離陸したあと乗っ取られ、墜落。乗客・乗員100人が全員死亡。
- 5 ○道教委、53年度公立高校適正配置計画を決定。31学級、1,475人増、3学区に4校新設。
- 6 ○経済対策閣僚会議（座長・宮沢経企庁長官）、懸案の対外経済対策（黒字減らし対策）を決定。約300品目の関税引下げ、牛肉輸入増など8項目。
- 9 ○閣議、52年度運輸経済年次報告（運輸白書）を了承。国内旅客輸送量が戦後初めて減少、貨物輸送量も横ばいなし減少傾向、安定成長への対応を強調。
○年金制度基本構想懇談会（厚相の私的諮問機関、有沢広己会長）、中間意見書を提出。老齢年金の支給開始年齢繰り下げなど。
- 12 ○日米経済協議、日本側の8項目の黒字減らしを中心とする対外経済対策について、ストラウス通商交渉特別代表は不満表明。
- 13 ○社会党大会、新委員長に飛鳥田一雄氏、副委員長に北山愛郎氏、下平正一氏、阿具根登氏、書記長に多賀谷真稔氏をそれぞれ選出。
- 14 ○札幌地検、白鳥事件の共犯者として道警が指名手配し、今月2日、逃亡先の中国から帰国と同時に逮捕されていた門脇成さんを起訴猶予として釈放。
○日本初の通信衛星、米フロリダ州ケープカナベラルから打ち上げられる。「さくら」と命名。
- 15 ○東京外国為替市場、海外市場での円急騰を受け、ついに1ドル=240円を突破し、238円に。
- 16 ○日ソ漁業交渉、議定書に正式調印。日本のソ連200カイリ内漁獲量85万トン、日本水域での対ソ漁獲割当量65万トン、操業水域は7海域で拡大ならず。
- 17 ○衆院予算委、商社代表11人の参考人を呼び対韓経済協力問題について集中審議。
- 18 ○岩内町長選、奈良敬藏氏（前自民党道議）が、原発建設反対派の岡本正巳氏を破り当選。
- 20 ○大阪高裁、大東水害訴訟の控訴審判決で、「管理者が危険を知りながら、社会通念上、妥当な期間で改修しなければ管理の手落ち」と行政責任を打ち出す。本格的な都市水害訴訟としては初の高裁判断。
○社会保障制度審議会（首相の諮問機関、大河内一男会長）、「皆年金下の新年金体系について」と題する建議書を提出。65才以上対象に「基本年金」を創設、財源確保に「年金税」導入などが骨子。
- 税制調査会（小倉武一会長）、53年度税制改正で答申。
- 21 ○参院予算委、牛場対外経済担当相らが出席して経済集中審議。
○石油輸出国機構（OPEC）カラカス総会、原油価格問題について合意に達せず。
- 22 ○北電、54年着工を目指す道南火力（35万キロワット2基）の立地点を渡島管内知内町に決定し、同町に正式申し入れ。
- 24 ○警察庁、52年全国犯罪白書を発表。爆破事件が再び増加、公務員による贈収賄、覚せい剤中毒患者による犯罪など広域、多様化。
- 25 ○サダト・エジプト大統領とベギン・イスラエル首相がスエズ運河西岸イスマイリアで会談。
- 27 ○福岡地裁、「内申抜き処分無効確認訴訟」の判決で地教法38条の解釈について「県教委は任命権の行使に当っては地教委の内申を要件としておりこれを欠いた処分は違法」との判断。
○閣議、原子力白書（52年原子力年報）を了承。自主技術開発の促進を強調。
○経済協力開発機構（OECD）、第22回経済見通しを発表。1978年の実質成長率は本年同様3.5%にとどまり、日本の78年下半期の成長率は3.25%に落ち込むとの予測。
- 28 ○警察庁、52年の交通事故による死者数（同日午前零時現在）まとめる。死者8,820人、昨年同期に比べ811人減少、本道は474人で3年連続全国一。
- 29 ○臨時閣議、53年度予算政府案を決定。一般会計34兆2,950億円（本年度当初比20.3%増）、財政投融资計画14兆8,876億円（同18.7%増）。